令和5年度　高等部3年（Ⅰ課程）　年間指導計画

科目	単位数	教科書	担当者名
国語表現	4単位（140時間）	大修館書店『国語表現』	

学期	月	教科書単元名	教科書教材名	領域（時間）A（話すこと・聞くこと）	領域（時間）B（書くこと）	領域（時間）C（読むこと）	主な学習の目標（評価規準）	評価の観点 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	評価方法等
一学期	4月	1　書いて伝える	1　整った文を書く		6		・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			2　わかりやすい文を書く				・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			3　文のつなぎ方				・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			4　絵や写真を見て書く				・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	○		◎		○	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			実践トレーニング（1）				・単元1の学習内容を確認し、知識を定着させる。 ・原稿用紙（縦書き・横書き）の使い方を確認する。			◎	○	◎	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			表現への扉　1				・書くことや言葉の使い分けに関する文章を読み、自らの表現に生かす。	○	○	○	○	○	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
		2　小論文・レポート入門	1　小論文とは何か		2		・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			2　反論を想定して書く		2		・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			3　文章を読み取って書く		4		・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。						・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
	5月		4　統計資料を読み取って書く		4		・さまざまな種類のグラフの特徴を知り、その読み取り方を理解する。 ・資料から読み取ったことをふまえて、自分の意見を明確にして小論文を書く。	○		◎	○	◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			5　発想を広げて書く		4		・発想を広げるための方法を理解する。 ・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			6　レポートを書く		5		・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
	6月		7　論文を書くために		2		・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			表現への扉　2		2		・現代社会に関する文章や資料を読み取り、それに対する自分の意見をまとめる。	○	○	○	○	○	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			1　自分を見つめて	2			・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	○	○	○			・観察 ・相互評価、自己評価
			2　効果的な自己PR	2			・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	○	○	◎			・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価

		3 自己PRと面接	3　将来の自分を考えよう	6			・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
	7月		4　志望動機をまとめよう	4			・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	○	○	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
			5　面接にチャレンジ	2			・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方をする。	○	◎			○	・観察 ・相互評価、自己評価
			【参考】履歴書の書き方				・履歴書の書き方を理解する。						
			実践トレーニング（2）				・表記や係り受けなど、文を書く上での基礎を押さえられているか確認する。 ・具体的なシーンを想定し、場面にあった言葉遣いや態度を確認する。		◎	◎	○	○	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			表現への扉　3	2			・働くことや将来の夢についての文章を読み、自らの進路について考える。	○	○	○	○	○	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
二学期	9月	4 メディアを駆使する	1　通信文を書き分ける		2		・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			【参考】手紙のいろいろ										
			2　電話を使いこなす	2			・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや応対のしかたを理解する。	○	◎			◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価 ・小テスト
			3　ネット社会とコミュニケーション	2			・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。	○		◎	○	◎	・作品 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			4　メディアと情報	2			・情報が編集されたものであることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。	○			○	◎	・作品 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			表現への扉　4	2			・メディアについて書かれた文章や資料を読み、考えたことを話し合ったり、文章にまとめたりする。	○	○	○	○	○	・観察 ・作品 ・相互評価、自己評価 ・小テスト
		5 声のコミュニケーション	1　言葉のストレッチ体操	2			・聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。 ・コミュニケーションの楽しさを感じる。	○	◎				・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
			2 リーダーズシアターを開こう	4			・文章の内容に応じてふさわしい声の使い方を工夫し、効果的に朗読する。	○	◎		○	○	・観察 ・発表 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
			【参考】リーダーズシアター場面集										
			3　ショートスピーチをしよう	4			・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	○	◎	○		○	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価
			【参考】物だって活き活きしていた										
			表現への扉　5	4			・コミュニケーションについて書かれた文章を読み、自らの表現に生かす。	○	○	○	○	○	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			1　相手や場面に応じた会話	2			・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	○	◎			○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価

	10月	6 会話・議論・発表	2 建設的な議論の進め方	4			・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	○	◎			○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
			3 プレゼンテーションの工夫	6			・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。	○	◎	○		◎	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価
			表現への扉 6	2			・文章を読み、考えたことについて議論をしたり発表をしたりする。	○	○	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価 ・小テスト ・定期テスト
			1 言葉で遊ぶ		2		・さまざまな言葉遊びを知り、おもしろさを味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・言葉遊びの仕組みやおもしろさを理解し、オリジナルの作品を作る。	○	○	◎	○	◎	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
	11月		2 詩歌を楽しむ		4		・さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・さまざまな詩歌の鑑賞をふまえて、表現を工夫しながら詩を創作する。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
			3 魅力的なポスターを作ろう		4		・イベントなどの効果的なコピーを考える。 ・写真やイラストなどとコピーを効果的にレイアウトして、魅力的なポスターを作る。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
			【参考】コピー誕生の瞬間										
			4 「わが町自慢」のパンフレット作り		4		・情報を適切に編集し、読み手を引きつけるような効果的なパンフレットを作る。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
			5 働く人にインタビュー	4			・質問内容を吟味してインタビューをし、相手の話の大切な点を落とさずに聞き取る。 ・聞き取った内容を適切に編集し、文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○	・観察 ・作品 ・相互評価、自己評価
	12月		【参考】人生は喜ばせごっこ										
			6 みんなで作ろう国語辞典		4		・辞書の項目の構成を理解し、それに即して新しい項目を考える。 ・自分たちが普段使っている言葉を見つめ直し、言語感覚を豊かにする。	○		◎	○	○	・観察 ・作品 ・相互評価、自己評価
		（第2部）	7 「私の虫類図譜」を作ろう		4		・『虫類図譜』を手本にして、想像を広げ、風刺を効かせた文章を書く。 ・イラストと文章を合わせて、魅力的な作品になるように工夫する。	○		◎	○	○	・観察 ・作品 ・相互評価、自己評価
	1月		8 エッセイを書こう		4		・着眼点、構成、文体、表現などに留意しながら、さまざまなエッセイを読み、味わう。 ・読んだエッセイを参考にして、効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。	○		◎	○	○	・作品 ・相互評価、自己評価
			9 パロディー物語を書こう		4		・「吾輩は猫である」のパロディー物語を読み、表現上の工夫を理解する。 ・著名な小説の表現上の特徴をまねて、パロディー物語を書く。	○		◎	◎	○	・作品 ・相互評価、自己評価
三学期			10 演説合戦にチャレンジ	5			・賛成か反対かを明確にし、聞き手を説得できるように、筋道を立てて話す。 ・意見の根拠に注意し、説得力があるかどうかを考えながら聞く。	○	◎	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
			【参考】ディベートを楽しむ										
	2月		11 こちら悩みごと相談室		4		・悩みごと相談に対する回答を、相手の立場を想像して適切に書く。 ・さまざまな立場の人物になりきって、その視点にふさわしい回答を書く。	○		◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
			12 開廷！模擬裁判	4			・模擬裁判において、根拠をふまえて自分の意見を述べたり、議論を重ねて結論を導いたりする。	○	◎		◎	◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
	3月		13 劇を作ろう	6			・役割を分担し、自分の役割に応じて効果的な表現になるよう工夫しながら、劇を作り上げる。	○	◎	◎	◎	○	・観察 ・相互評価、自己評価
				73	67								

「新詳地理B」年間指導計画案・評価規準

令和5年度　高等部3年　Ⅰ課程　地理歴史科　地理B年間指導計画　単位数：2　配当時間：70　教科書：帝国書院「新詳地理B」　担当：

月		単元 と 項目	時数	学習の目標（ねらい）及び内容	評 価 規 準			
					関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
4		**3節　日本の自然の特徴と人々の生活** 1　日本の地形 2　日本の気候 3　開発に伴う災害と防災	2	日本の自然の特徴と人々の生活について，地形や気候の特徴と，これによる自然災害の特徴を理解するとともに，土地開発の状況などもふまえて防災のあり方を考察する。	○日本特有の地形・気候と，これによって生じる自然災害の特徴や防災のあり方について関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○日本の地形や気候の特徴を，プレートや大陸との位置関係などから考察するとともに，日本で発生しやすい災害の特徴やこれに対する防災のあり方を多面的・多角的に考察し，その要因や課題を適切に表現できる。	○日本の地形と気候，自然災害と防災に関するデータや写真などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，日本の地形と気候，自然災害と防災の特徴や課題を読み取ることができる。	○日本の地形と気候の特徴とこれによって生じる自然災害の特徴や防災のあり方を理解し，その知識を身につけている。
		4節　環境問題 1　世界の環境問題 2　さまざまな環境問題 3　日本の環境問題	5	世界の環境問題について，その背景や原因，影響，対策を多面的に考察する。また，日本国内の環境問題について発生した背景や問題解決への取り組みを考察する。	○世界と日本の環境問題の原因，影響，対策に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○世界と日本の環境問題の原因，影響，対策について，自然環境の学習内容などと関連付けて多面的・多角的に考察し，特徴や地域的な分布，今後の課題などについて適切にまとめ，表現できる。	○世界と日本の環境問題に関するデータや写真などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，状況変化の推移や地域差などを読み取ることができる。	○世界と日本の環境問題の原因，影響，対策などを理解し，その知識を身につけている。
5		**2章　資源と産業** **1節　世界の農林水産業** 1　農業の発達と分布 2　農業の地域区分 3　現代世界の農業の現状と課題 4　世界の林業・水産業 5　日本の農林水産業	7	世界の農林水産業について，自然条件や社会条件と関連づけて農業の地域区分をとらえるとともに，現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。また，世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。	○世界の農林水産業について，現代世界と日本の農林水産業に対する関心と課題意識を高め，農業の成立条件などを踏まえてそれらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○現代世界や日本の農林水産業の現状と課題を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○現代世界や日本の農林水産業の生産や分布の特徴に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，農林水産業の現状や課題について読み取ることができる。	○世界の農林水産業について，自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し，その知識を身につけている。
6		**2節　食料問題** 1　世界の食料問題 2　発展途上国の食料問題 3　先進国の食料問題 4　日本の食料問題	2	食料問題について，世界の食料需給の地域的なかたよりを大観し，発展途上国と先進国の事例を考察する。また，日本が抱える食料問題を考察する。	○食料問題について，発展途上国や先進国，日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○食料問題について，発展途上国や先進国，日本の食料問題の状況とその成因を，系統地理的にとらえる視点や考察方法を考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○食料の生産と消費の推移や地域的かたよりに関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，食料問題の現状や課題について読み取ることができる。	○食料問題について，その要因となりうる自然条件や社会条件などを理解し，それらの対策などに関する知識を身につけている。
		3節　世界のエネルギー・鉱産資源 1　エネルギー資源の種類と利用 2　化石燃料の分布と利用 3　電力の利用 4　鉱産資源の種類と利用	3	世界のエネルギー・鉱産資源について，それぞれの種類や分布，利用の現状や方法を考察する。	○世界のエネルギー・鉱産資源について，それぞれの資源の特徴や利用法，分布のかたよりなどに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○世界のエネルギー・鉱産資源について，それぞれの資源の特徴や利用法，分布のかたよりを，自然環境の学習内容などをふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，資源ごとの特徴や問題点について読み取ることができる。	○世界のエネルギー・鉱産資源について，その種類や分布，おもな利用法などを理解し，その知識を身につけている。
		4節　資源・エネルギー問題 1　現代世界の資源・エネルギー問題 2　さまざまな資源・エネルギー問題 3　日本の資源・エネルギー問題	3	資源・エネルギー問題について，世界と日本の資源・エネルギー問題を大観し，問題の原因や近年の動向，問題解決の取り組みを考察する。また，日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。	○資源・エネルギー問題について，生産・消費の不均衡とさまざまな資源・エネルギー問題の動向に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○資源・エネルギー問題について，生産と消費の不均衡や利用法の課題，石油情勢の背景やこれからのエネルギー利用のあり方などを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○資源やエネルギーの生産と消費に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，国や資源ごとの特徴や課題について読み取ることができる。	○資源やエネルギーの不均衡や石油情勢，エネルギーのあり方などを理解し，その知識を身につけている。
7	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察	**5節　世界の工業** 1　工業の発達と種類 2　工業の立地とその変化 3　世界の工業地域 4　現代世界の工業の現状と課題 5　日本の工業	2	世界の工業について，工業の発達過程や種類，立地とその変化，現状と課題を考察する。また，日本の工業の特徴と課題を考察する。	○世界の工業について，工業の発達過程や種類，立地とその変化，現状と課題などに関する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○世界の工業について，工業の立地や発達に影響をおよぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○工業生産や地域的分布に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，国や種類ごとの特徴や課題について読み取ることができる。	○世界の工業について，工業の発達過程や種類，立地とその変化，現状と課題，及び日本の工業の特徴と課題を理解し，その知識を身につけている。
		6節　第3次産業 1　第3次産業の発展 2　多様化する観光産業 3　日本の観光産業	1	第3次産業について，その特徴や発展の背景，地域差などをとらえるとともに，世界と日本の観光業の特徴を考察する。	○第3次産業について，近年の動向や地域差に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○第3次産業の地域差や近年の動向について，情報化や国際化進展の影響などをふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○商業やサービス業，観光業の動向に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，第3次産業の動向や地域差について読み取ることができる。	○商業やサービス業，観光業の特色や動向などを理解し，その知識を身につけている。
		7節　世界を結ぶ交通・通信 1　世界の交通網 2　情報と通信の発達	1	世界を結ぶ交通・通信について，交通機関の種類や特徴をとらえるとともに，通信の発達による世界の一体化と地域差を考察する。	○世界を結ぶ交通・通信について，交通機関の種類や特徴に対する関心を高めるとともに，通信の発達による世界の一体化と地域差に対する課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○交通機関や通信の発達によって一体化が進む世界が抱える課題について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○各種交通の運行状況やインターネットなど通信の普及に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，世界を結ぶ交通・通信網の分布や地域差について読み取ることができる。	○交通や通信の発達の状況や一体化の進行，地域差の拡大などを理解し，その知識を身につけている。
		8節　現代世界の貿易と経済圏 1　私たちの生活を支える貿易 2　国際分業の発達と貿易の地域間格差 3　貿易の自由化と経済連携 4　日本の貿易の現状と課題	2	現代世界の貿易と経済圏について，進展する国際分業の現状と課題，貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。また，現代世界における日本の貿易の現状と課題を考察する。	○現代世界の貿易と経済圏について，国際分業が進む世界と日本の貿易の現状に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○現代世界の貿易と経済圏について，国際分業の現状と課題をふまえて，貿易の自由化と経済連携の動向と課題を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○世界の国家間や経済圏間の貿易に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，現代世界の貿易と経済圏の規模や地域間関係について読み取ることができる。	○貿易に関する用語や経済圏の組織，世界の貿易の特色や動向などなどを理解し，その知識を身につけている。
9		**3章　人口，村落・都市** **1節　世界の人口**	1	世界の人口について，その分布の特徴や動態，人口構成や人口転換を考察する。	○世界の人口について，その分布の特色や動態，人口構成や人口転換に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○世界の人口について，世界の人口分布のかたよりと人口増加の原因，人口構成と人口転換の考え方，国際的な人口移動の背景を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○世界や州別・国別の人口分布や動態に関するデータ，人口ピラミッドなどの諸資料から，有用な情報を適切に比較・選択し，世界人口の特色や国・地域ごとの差異について読み取ることができる。	○世界人口の分布と動態，人口構成の特色と人口転換のしくみを理解し，その知識を身につけている。
		2節　人口問題 1　世界の人口問題 2　発展途上国の人口問題 3　先進国の人口問題 4　日本の人口問題	2	人口問題について，世界の人口問題を大観し，発展途上国と先進国のそれぞれについて，その要因や対策をとらえる。また，日本の人口問題の課題と解決への取り組みを考察する。	○発展途上国と先進国のそれぞれの人口問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○世界の人口問題について，発展途上国と先進国の違いをふまえて，それぞれの課題を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○人口爆発や少子高齢化の人口動態に関する統計や事例などの諸資料から，有用な情報を適切に比較・選択し，人口問題の動向や国・地域ごとの差異について読み取ることができる。	○発展途上国，先進国，日本のそれぞれについて，人口問題の実態を理解し，その知識を身につけている。
		3節　村落と都市 1　集落の成り立ち 2　村落の形態と機能 3　都市の機能と生活	1	村落と都市について，その立地条件や発達の背景，村落や都市がもつ機能と人間生活のかかわりを考察する。	○村落と都市について，その立地条件や発達経緯，機能に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○村落と都市について，その立地や構造を，地域の歴史や自然条件，社会条件などをふまえて多面的・多角的に比較・考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○村落や都市の形態や分布，人口規模，都市の地域構造などに関する統計や地図などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，村落や都市の有する機能や発達経緯などについて読み取ることができる。	○村落と都市の立地条件や，発達の背景，機能などを理解し，その知識を身につけている。

月	単元 と 項目	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準 関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	4節 都市・居住問題 1 世界の都市・居住問題 2 発展途上国の都市・居住問題 3 先進国の都市・居住問題 4 日本の都市・居住問題	2	都市・居住問題について，世界の都市・居住問題を大観し，発展途上国と先進国のそれぞれについて，その要因や対策をとらえる。また，日本の都市・居住問題の課題と解決への取り組みを考察する。	○発展途上国と先進国のそれぞれについて，都市・居住問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○都市・居住問題について，世界の都市・居住問題の要因や対策をふまえて，日本の都市・居住問題の対応と課題について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○発展途上国，先進国，日本の都市・居住問題に関する統計や地図などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，都市ごとでの問題点の相違などについて読み取ることができる。	○発展途上国，先進国，日本の都市・居住問題の特徴や，解決への道筋などを理解し，その知識を身につけている。
	4章 生活文化，民族・宗教 **1節 世界の衣食住** 1 世界の衣食住の地域的差異 2 衣食住の世界的な画一化 3 日本の衣食住	2	世界の衣食住について，地域的差異があることに気づくとともに，世界的に画一化が進む現状を考察する。また，日本の衣食住の特徴やその変化を考察する。	○世界の衣食住について，地域的差異が生じていることに対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○世界の衣食住について，さまざまな衣食住の地域的差異の背景，世界と日本の衣食住の変化と世界的な画一化の要因を，自然環境や社会環境の変化などを踏まえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○世界の衣食住の写真や分布図，巨大企業の海外進出のデータなどの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，生活文化の地域的差異や画一化の様子について読み取ることができる。	○衣食住の分布や地域的差異の特徴，画一化の進展状況などを理解し，その知識を身につけている。
10	**2節 民族と宗教** 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教	2	民族と宗教について，民族と言語，世界の宗教の分布や特徴，生活とのかかわりについて考察する。	○民族と宗教について，その分布や人々の生活との関係に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○民族と宗教について，民族とは何かを言語とのかかわりから，宗教とは何かを生活とのかかわりから，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○民族と言語や，宗教と生活のかかわりに関する写真などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，民族・宗教の分布や特徴，生活とのかかわりについて読み取ることができる。	○世界の言語分布や宗教の特徴，生活とのかかわりなどを理解し，その知識を身につけている。
	3節 現代世界の国家	1	現代世界の国家について，国家と領域・国境のあり方，国家と主権の考え方，さまざまな国家と国家間の関係の課題を考察する。	○現代世界の国家について，その領域や国境，国家形態そのものの違いに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○現代世界の国家について，国家と領域・国境のあり方，国家と主権の考え方，さまざまな国家と国家間の関係の課題を，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○領域・国境やさまざまな国家に関するデータなどの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，現代世界の国家の特徴について読み取ることができる。	○国境と領域のきまり，さまざまな国家の分類などを理解し，その知識を身につけている。
	4節 民族・領土問題 1 世界の民族・領土問題 2 多様な原因をもつ民族・領土問題 3 共生に向けた取り組み 4 日本の領土をめぐる問題と外国人との共生	2	民族・領土問題について，現代世界の民族・領土問題を大観し，そのおもな原因と共生に向けた取り組みを考察する。また，日本の領土をめぐる問題や日本国内で暮らす外国人との共生の課題を考察する。	○民族・領土問題について，そのおもな原因と共生に向けた取り組みに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○民族・領土問題について，世界各地や日本の事例を取り上げ，問題が起こる背景や，これを解決して民族が共生するための方策を，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○世界各地でおこっている民族・宗教や領土に関する紛争のデータや事例などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，民族・領土問題における原因の相違点などについて読み取ることができる。	○世界各地の民族・宗教や領土に関する問題や多文化共生の取り組みなどを理解し，その知識を身につけている。
11	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 **1章 現代世界の地域区分** **1節 地域区分とは何か**	0.8	地域区分の目的と意義を理解し，有用性に気づく。	○地域区分の目的や意義をふまえて，その有用性に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○地域区分の目的や意義，有用性について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○地域区分の目的や意義をふまえてさまざまな地域区分を示した図から有用な情報を適切に選択し，読み取ることができる。	○地域区分の目的や意義，方法，有用性を理解し，その知識を身につけている。
	2章 現代世界の諸地域 **1節 地域の考察方法**	0.2	国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。	○地域の考察方法について，地誌的に考察する三つの方法に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○地域の考察方法について，三つの方法それぞれの特徴や相違点を考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○地域区分と考察方法を示した資料から，有用な情報を適切に選択し，地誌の考察方法の特徴について読み取ることができる。	○多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法，特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する方法，対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法の三つの方法を理解し，その知識を身につけてい
	2節 東アジア ○変化に富んだ地形と気候 1 中国の歩みと巨大な人口 2 中国の食生活と農業の変化 3 中国の工業化と巨大市場 4 中国の海外進出 ●人や物で緊密に結びつく日本と中国 5 朝鮮半島の歩みと文化 6 韓国の産業の発展と変化 ●相互理解をめざす日本と韓国	4.0	東アジアについて，形式的な地域区分にもとづき，自然環境，中国の歴史・文化と巨大な人口，農業，工業，中国の海外進出，朝鮮半島の歴史・文化，韓国の産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○東アジアについて，中国や朝鮮半島の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○東アジアについて，日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容，中国の人口増加と経済格差，中国・韓国の経済発展などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○東アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，東アジアの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。	○東アジアの自然の特徴，日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容，中国の人口増加と経済格差，中国・韓国の経済発展などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。
12	**3節 東南アジア** モンスーンの影響を受ける自然環境 1 東南アジアの歴史と文化・民族 2 東南アジアの農業とその変化 3 ASEANの結成と工業の発展 4 ASEANの変化と課題 ●ますます身近になる東南アジア	2	東南アジアについて，形式的な地域区分にもとづき，自然環境，歴史と文化・民族，農業，工業，ASEANの変化と課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○東南アジアについて，東南アジア諸国の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○東南アジアについて，東南アジア諸国の多様性に富む文化や民族，歴史的背景をふまえた地域の変容，ASEAN諸国にみられる農業の変化や工業の発展，地域格差や都市問題などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○東南アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，東南アジアの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。	○東南アジアの自然の特徴，東南アジア諸国の多様性に富む文化や民族，歴史的背景をふまえた地域の変容，ASEAN諸国にみられる農業の変化や工業の発展，地域格差や都市問題などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。
	4節 南アジア 三つに分けられる地形と モンスーンの影響を受ける気候 1 南アジアの歩みとヒンドゥー教 2 インドの農業と農村の変化 3 発展するインドの産業と変化	2	南アジアについて，形式的な地域区分にもとづき，地形と気候，歩みとヒンドゥー教，インドの産業と生活の変化という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○南アジアについて，インドを中心とした地域の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○南アジアについて，インドのヒンドゥー教を背景とした地域の構造と変容，インドの農業と課題，IT産業の発展のしくみなど地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○南アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，南アジアの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。	○南アジアの自然の特徴，インドのヒンドゥー教を背景とした地域の構造と変容，インドの産業と生活の変化などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。
	5節 西アジアと中央アジア 乾燥した大地が広がる二つの地域の自然環境 1 イスラームを中心とした生活文化 2 交易を軸に発達した都市 3 豊かな資源と人々の生活 ●資源と人の交流でつながる日本と西アジア・中央アジア	2	西アジアと中央アジアについて，乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき，自然環境，イスラームの生活文化，交易と都市，資源と産業の面において，類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○西アジアと中央アジアについて，乾燥帯が広がる自然環境の地域にみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○西アジアと中央アジアについて，二つのアジア地域の歴史的背景をふまえた地域の変容，交易を軸に発展した都市の共通性の背景，恵まれた資源と産業の共通性と課題などの地域的特色や地球的課題を，類似的な性格の二つの地域を比較して考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○西アジアと中央アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，西アジアと中央アジアの相違点や近年の動向について読み取ることができる。	○西アジアと中央アジアの自然の特徴，二つのアジア地域のイスラームを中心とした生活文化の歴史的背景をふまえた都市や豊かな資源と産業などの共通する地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。
1	**6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ** 赤道を軸に南北で対照的な二つの地域の気候と植生 1 歴史的な背景によって形成された 多様な文化 2 一次産品への依存が強い産業 3 人々の生活の変化とほかの地域との結びつき ●新たな関係を模索する日本とアフリカ	2	北アフリカとサハラ以南のアフリカについて，中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分にもとづき，気候と植生，歴史的背景と文化，一次産品への依存，生活の変化とほかの地域との結びつきの面において，対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○北アフリカとサハラ以南のアフリカについて，中近東文化と中南アフリカ文化の地域にみられる地域的特色や地球的課題対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○北アフリカとサハラ以南のアフリカについて，歴史的背景をふまえた地域の変容，文化の異質性，一次産品への依存が強い経済構造，生活の変化とほか地域との結びつきなどの地域的特色や地球的課題を，対照的な性格の二つの地域を比較して考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○北アフリカとサハラ以南のアフリカ自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，北アフリカとサハラ以南のアフリカの相違点や近年の動向について読み取ることができる。	○北アフリカとサハラ以南のアフリカの自然の特徴，中近東文化と中南アフリカ文化の地域の歴史的背景をふまえた地域の変容，これによって生まれた文化の特徴，一次産品への依存が強い経済構造，生活の変化とほか地域との結びつきなどの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。

月	単元 と 項目	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評 価 規 準			
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	7節 ヨーロッパ 高緯度でも温暖な気候と安定した大地 1 ヨーロッパの成り立ち 2 結びつくヨーロッパ 3 ヨーロッパの多様な農業と共通農業政策 4 移り変わるヨーロッパの工業 5 これからのヨーロッパ ●産業と文化で結びつく日本とヨーロッパ	3	ヨーロッパについて，形式的な地域区分にもとづき，自然環境，歴史，EUの結びつき，農業，工業，今後の動向という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○ヨーロッパについて，ヨーロッパの各地域の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○ヨーロッパについて，産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容，各地域の民族と宗教の課題，EUを中心とした地域の結びつきと農業・工業の変化などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○ヨーロッパの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，ヨーロッパの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。	○ヨーロッパの自然の特徴，産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容，各地域の民族と宗教の特徴，EUを中心とした地域の結びつきと農業・工業の変化などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。
	8節 ロシア 広大な国土と多様な自然環境 1 ロシアの歴史と社会の変化 2 大きく変化したロシアの産業 ●日本海をはさんだ隣国である日本とロシア	2	ロシアについて，亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき，自然環境，歴史，産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○ロシアについて，亜寒帯が広がる自然環境の地域にみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○ロシアについて，かつての社会主義国としての歴史的背景をふまえた地域の変容，社会主義時代からの農業や鉱工業の変容などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○ロシアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，ロシアの特徴や近年の動向について読み取ることができる。	○ロシアの自然の特徴，かつての社会主義国としての歴史的背景をふまえた地域の変容，社会主義時代からの農業や鉱工業の変容などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。
2 3	**9節 アングロアメリカ** 南北と東西で異なる自然環境 1 移民国家としてのアメリカ合衆国の発展 2 アメリカ合衆国の人口と都市 3 世界の農業のかぎをにぎるアメリカ合衆国 4 進展する科学技術と産業 5 世界の中のアメリカ合衆国 6 アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダ ●経済・政治の重要なパートナーであるアメリカ合衆国	2	アングロアメリカについて，文化に着目した地域区分にもとづき，自然環境，アメリカ合衆国の移民国家としての発展，人口と都市，農業，科学技術と産業，世界に影響力のあるアメリカ合衆国，アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○アングロアメリカについて，移民国家としてのアメリカ合衆国やカナダにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○アングロアメリカについて，移民が建国した歴史的背景をふまえた地域の変容，人種・民族的課題，大都市問題の実態や背景，農業と工業の変化と課題，世界への経済・文化的影響，アメリカ合衆国とカナダの関係などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○アングロアメリカの自然・歴史・文化・産業など関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，アングロアメリカの地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。	○アングロアメリカの自然の特徴，移民が建国した歴史的背景をふまえた地域の変容，これによって生まれた人種・民族の特徴，大都市問題の実態，農業と工業の変化，世界への経済・文化的影響，アメリカ合衆国とカナダの関係などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。
	10節 ラテンアメリカ 南北と標高で異なる自然環境 1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化 2 大土地所有制と農業の変化 3 鉱産資源を基盤とした工業化と生活の変化 ●歴史的に関係の深い日本とラテンアメリカ	2	ラテンアメリカについて，文化に着目した地域区分にもとづき，自然環境，文化，大土地所有制と農業の変化，工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○ラテンアメリカについて，スペインやポルトガルの影響を強く受けた地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○ラテンアメリカについて，歴史的背景をふまえた地域の変容や，複雑な人種・民族構成や大土地所有制による農業の特徴が生まれたしくみ，鉱産資源を基盤とした工業化の進展と格差の課題などの地域的特色や地球的課題を，有機的に関連づけて動態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○ラテンアメリカの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，ラテンアメリカの地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。	○ラテンアメリカの自然の特徴，植民地化された歴史的背景をふまえた地域の変容，これによって生まれた人種・民族の特徴や大土地所有制による農業，鉱産資源を基盤とした工業化の進展と経済的格差などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。
	11節 オセアニア 一つの大陸と太平洋の島々 1 オセアニアの移民の歴史と多文化社会 2 資源を通じて強まるアジア諸国との結びつき 3 アジア諸国に輸出される農畜産物 4 物や人の移動で強まるアジアとの結びつき ●物や人の交流を深める日本とオセアニア	2	オセアニアについて，形式的な地域区分にもとづき，一つの大陸と太平洋の島々，移民の歴史と多文化社会，強まるアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○オセアニアについて，自然環境や歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○オセアニアについて，歴史的背景をふまえた地域の変容や，民族・文化的特徴が生まれたしくみ，深まるアジアとの関係と課題などの地域的特色や地球的課題を，有機的に関連づけて動態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○オセアニアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとにオセアニアの地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。	○オセアニアの自然の特徴，オーストラリア，ニュージーランドの移民の歴史的背景をふまえた地域の変容，これによって生まれた民族・文化の特徴，深まるアジアとの関係の実態などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。
	3章 現代世界と日本 **1節 日本が抱える地理的な諸課題** **2節 日本の抱える課題の追究** 1 テーマを設定する 2 課題を探究する 3 仮説を検証する 4 まとめと発表	5	現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について，多面的・多角的に考察し，探究する活動を通して，その解決の方向性や将来像について考察する。	○日本が抱える地理的な諸課題について，関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○日本が抱える地理的な諸課題について，これまでの歴史的経緯などをふまえ，その解決の方向性や将来像などを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	○現代世界の日本に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに日本が抱える地理的な諸課題の原因や今後の展望などが読み取ることができる。	○さまざまな規模の地理的な諸課題を抱える日本の現状と今後重要となる取り組みを理解し，その知識を身につけている。
		70					

令和5年度　高等部3年（Ⅰ課程） 年間指導計画

公民科「政治・経済」	単　位　数	2単位
	配当時間	70
	担当者名	

1　学習の到達目標等

学習の到達目標	1民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。 2政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察する。 3公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『高校政治・経済新訂版』(実教出版)『新政治・経済資料』(実教出版)

2　学習計画及び評価方法等

（1） 学習計画等

学期	学習内容	月	時間	学習のねらい・目標	備　考 学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動との関連など	考査範囲
第1学期	第1編　現代の政治			・民主政治の本質を世界のおもな政治体制と関連させて理解する。	「倫理」「世界史」「日本史」の学習と関連する。	
	第1章 民主政治の基本原理	4	6	・基本的人権の意義、法の支配、民主政治の発達と人権の発達、世界の政治体制、20世紀の教訓を学習し、民主政治の課題は何か考える。	議会政治の発達、自然権の承認、基本的人権の発達、国際的人権保障という流れを人権宣言の発達の過程を振り返りながら理解させる。例）権利章典、アメリカ独立宣言、フランス人権宣言の比較	
	第2章 日本国憲法の基本的性格	5	6	・日本国憲法の成立、日本国憲法における平和主義、基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。	日本国憲法の平和主義、基本的人権の保障、国民主権などの内容が、どのような歴史的反省の上に築かれているか考えさせる。例）治安維持法の下での人権抑圧と日本国憲法の人身の自由	
	第3章 日本の政治機構	6	6	・日本の国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているか理解するとともに、他の国の制度とくらべて今後の課題は何か考える。	日本の三権分立制が、イギリスやアメリカとどのような共通点や相違点をもっているか発見させ、日本の政治制度に必要な改革は何か考えさせる。例）首相公選制、内閣による裁判官の任命制	
	第4章 現代日本の政治	6・7	5	・戦後政治の流れと日本の特徴、政党と選挙、行政機能の優位、世論の役割について学習し、日本の政治がかかえる問題について考える。	戦後の日本の政治において何が争点になってきたか理解させ、1993年の55年体制の崩壊以後国民は何を学んできたか考えさせる。例）日本ではなぜ有力な野党が育ちにくいのか。政権交代の意義とは何か。	
第2学期	第5章 現代の国際政治	7・9	6	・国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動、東西冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理について学習し、国際政治と日本の関係について考える。	軍事力や力の政治による国際問題の最終的解決は不可能であり、国連をはじめとする多国間での協議の必要性が高まっていることを理解させる。例）イラク戦争にいたるまでの国連安保理での議論	
	第2編　現代の経済			・こんにちの経済を、企業、家計、政府の役割、市場による調整、世界経済における相互依存などの視点から理解する。	「日本史」「世界史」「地理」の学習と関連する。	

	第1章 経済社会の変容	9 ・ 10	3	・経済活動の特徴、資本主義経済の発達と変容、資本主義経済の特徴について学習し、経済活動の意義について考える。さらに、経済のグローバル化が生活に及ぼす影響について考える。	資本主義経済の基本的な特徴を理解させ、それらが歴史的にどのように変化してきたか、企業間競争のあり方や政府の役割に注目して考えさせる。また、グローバル・ガバナンスの重要性に着目させる	
	第2章 現代経済のしくみ	10 ・ 11	8	・経済主体の役割、市場のしくみ、国民所得、経済成長、金融のしくみ、財政の役割を学習し、経済活動がどのように調整されているか考える。	市場機構が需要と供給の不均衡の調節を通じて資源配分を行っていること、金融や財政の適正な運営が国民経済にとって不可欠であることを理解させる。例）国債の発行が必要な場合と、発行してはならない場合	
	第3章 現代経済と福祉の向上	11 ・ 12	10	・日本経済の発達のながれ、中小企業問題、日本の農業、国民の生活、環境・公害問題、労働問題、社会保障の役割について学習し、多様な課題にどのように取り組むべきか考える。	自分の関心のある問題について、日本の現状について考えさせ、意見発表や討論をさせる。例）日本に農業は必要か。消費者問題に巻き込まれないための心構えは何か。	
	第4章 世界経済と日本	1	6	・商品・資本の国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題を学習し、世界経済と日本経済のかかわりについて考える。	国際分業の発達によって、国境をこえて国どうしの相互依存関係が深まり、お互いの存在が不可欠になっていることを理解させる。また、金融のグローバル化が招く社会への影響についても考えさせる。	
第３学期	第3編　現代社会の諸課題			・生徒は、現代日本の政治や経済の諸課題（1～5）と、国際社会の政治や経済の諸課題（6～10）から、それぞれ課題を選び、その課題の問題点を明確にして、その解決法を考える。	第1編、第2編での基本的概念や理論の学習をふまえて、諸課題を理解し、解決法を考える。	
	現代日本の政治や経済の諸課題	2	4	1 地域社会の変貌と住民生活 2 中小企業の新しい変化 3 農業、農村と食料、環境問題 4 雇用と労働をめぐる問題 5 これからの社会保障のあり方 上記から課題を選び、複数の代表的な考え方を比べ、望ましい解決方法を考える。	共通のテーマを取り上げた生徒たちでグループをつくり、まずグループ内で個人個人が調べ学習をし、発表して意見交換をする。その後、グループの発表テーマを決めて、役割分担して発表する。その際、単に調べたことを発表するのではなく、グループとしての意見をまとめて発表し、他の生徒たちからの意見も求める。	
	国際社会の政治や経済の諸課題		4	6 地球環境の保全と経済成長 7 原子力と再生可能エネルギー 8 人種・民族問題 9 国際経済格差の是正と国際協力 10 国際社会における日本の立場と役割 上記から課題を選び、複数の代表的な考え方を比べ、望ましい解決方法を考える。		

令和 5 年度 高等部3年（普通課程）年間学習指導計画

教　科	数学	教 科 書	数Ⅰ 323 「高校数学A 新訂版」 実教出版	単 位 数	2 単位
科　目	数学A	担当者名		配当時数	70
教科の目標	数学的活動を通して，数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め，事象を数学的に考察し表現する能力を高め，創造性の基礎を培うとともに，数学のよさを認識し，それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	整数の性質，図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。				
評価の観点	関心・意欲・態度【関】	数学的な見方や考え方【見】	数学的な技能【技】	知識・理解【知】	
趣　旨	数学の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。	

学期	月	学習内容	学習活動・学習のねらい	関	見	技	知	評価規準（評価方法）	備考	時数
第1学期	4	**2章　整数の性質** **1節　整数の性質** 1. 倍数と約数 2. 倍数の見分け方 3. 素数と素因数分解 4. 最小公倍数と最大公約数 5. 最小公倍数と最大公約数の利用 6. 最小公倍数と最大公約数の関係	・整数の性質についての理解を深めるとともに，整数に関連した事象を論理的に考察できるようにする。	○				・整数のいろいろな性質に関心をもち，進んでその性質を調べようとする。 ・具体的な事象の考察に，最小公倍数や最大公約数の考えを利用しようとする。 （授業態度）	・教科書p.52，53「倍数の見分け方」については，複雑なもの（7の倍数の見分け方）は扱っていない。	15
	5				○			・最小公倍数と最大公約数について，それを導く過程を考えることができる。 ・具体的な事象の考察に，最小公倍数や最大公約数の考えを利用できる。 ・2つの整数と最小公倍数および最大公約数との関係を考えることができる。 （発問評価）		
						○		・倍数の判定をすることができる。 ・公倍数・公約数，最小公倍数・最大公約数を求めることができる。 ・数を素因数分解することができる。 （課題提出・定期考査）		
	6						○	・倍数の判定方法について理解している。 ・素因数分解や最小公倍数，最大公約数を求める手順について理解している。 ・2つの整数と最小公倍数，最大公約数の関係を理解している。（定期考査）		
	7	**2節　ユークリッドの互除法と不定方程式** 1. 最大公約数と最大の正方形 2. ユークリッドの互除法 3. 不定方程式	・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し，それを用いて最大公約数を求められるようにする。 ・2元1次不定方程式の解の意味を理解し，不定方程式のすべての整数解を求められるようにする。	○				・最大公約数を図形的に考えることに関心をもち，進んで調べようとする。 ・整数の解が無数にある不定方程式について関心をもち，その解を調べようとする。 （授業態度）	教科書p.64，65「ユークリッドの互除法」については，式による証明は避け，具体的な数と長方形の分割を用いて導いている。	10
					○			・長方形を最大の正方形で敷き詰めることを用いて，最大公約数を考えることができる。 ・大きな整数の最大公約数を求めるときに，ユークリッドの互除法を用いると便利であることがわかる。 ・不定方程式の整数解を，倍数の表し方や互除法の計算と関連させて考えることができる。 （発問評価）		
						○		・ユークリッドの互除法を用いて，2つの整数の最大公約数を求めることができる。 ・不定方程式のすべての整数解を，文字を用いて表すことができる。 ・互除法を利用して，不定方程式の1組の整数解を求めることができる。 （課題提出・定期考査）		
							○	・ユークリッドの互除法の仕組みについて理解している。 ・不定方程式とその整数解について理解し，不定方程式を解くための基本的な知識を身につけている。 （定期考査）		
	9	**3節　整数の性質の活用** 1. 2進法の仕組み 2. 分数と小数	・2進法の仕組みや，分数が有限小数または循環小数で表される仕組みを理解する。	○				・数の表し方について関心をもち，10進法や2進法のそれぞれの良さなどを調べようとする。 ・分数と小数の関係について関心をもち，分数を小数で表すと有限小数または循環小数になることを進んで調べようとする。 （授業態度）	・教科書p.76の「分母が7の分数」で，部屋割り論法（鳩の巣原理）を学習する。	7
					○			・2進法で表された数を10進法で表したり，10進法で表された数を2進法で表す方法について考えることができる。 ・分数を小数で表したり，小数を分数で表す方法について考えることができる。 （発問評価）		
						○		・2進法で表された数を10進法で表したり，10進法で表された数を2進法で表すことができる。 ・2進法で表された数どうしの和を求めることができる。 ・整数の性質を利用して，分数を小数で表したり，小数を分数で表すことができる。 （課題提出・定期考査）		
							○	・10進法および2進法のしくみについて理解している。 ・分数と小数について，整数の性質に関連付けて理解している。 （定期考査）		
第2学	10	**3章　図形の性質** **1節　作図** 1. 基本の作図 2. いろいろな作図	・垂直二等分線，垂線，角の二等分線，平行線，3等分する点が作図できるようにする。	○				・定規とコンパスを用いていろいろな作図ができることに興味をもち，進んで取り組もうとする。 （授業態度）	・1節を，2節3節を学んだ後とすることも考えられる。	10
					○			・作図の手順について考えることができる。 （発問評価）		
						○		・垂直二等分線，垂線，角の二等分線，平行線，等分点が作図できる。 （課題提出・定期考査）		
							○	・垂直二等分線，垂線，角の二等分線，平行線，等分点の作図の方法を理解している。 （定期考査）		

学期		**2節　三角形の性質** 1. 三角形の角 2. 三角形と線分の比 3. 三角形の外心・内心・重心	・三角形の角の二等分線と線分の比の関係や，三角形の外心，内心，重心について理解し，それらの性質を用いて線分の長さや角の大きさを求められるようにする。	○				・三角形の性質に関心をもち，進んでその性質を調べようとする。 ・三角形の外心，内心，重心に関心をもち，進んでその性質を調べようとする。 （授業態度）	・教科書p.86「三角形の角」，p.87「平行線と線分の比」，p.88「中点連結定理」は中学校で学んでいる。 ・2節，3節においては，いろいろな定理や性質を導いている記述の箇所に薄いスミアミを載せている。 ・教科書p.89「角の2等分線と線分の比」では，外角の2等分線については側注の張り紙で紹介する程度に留めている。	8
	11				○			・角の二等分線と線分の比の式を導く過程を考えることができる。 ・三角形の外心，内心，重心などの性質を考えることができる。 （発問評価）		
						○		・角の二等分線と辺の比の関係を用いて，線分の長さを求めることができる。 ・三角形の外心，内心，重心を作図することができる。 ・三角形の外心，内心，重心の性質を用いて，線分の長さや角の大きさを求めることができる。 （課題提出・定期考査）		
							○	・内角，外角の二等分線と辺の比の関係を理解している。 ・三角形の外心，内心，重心の性質を理解している。 （定期考査）		
		3節　円の性質 1. 円周角 2. 円と四角形 3. 円と接線 4. 方べきの定理 5. 2つの円	・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件，円の接線と接点を通る弦のなす角の性質，方べきの定理および2つの円の位置関係について理解し，それらを図形の性質の考察に活用できるようにする。	○				・円の性質に関心をもち，進んでその性質を調べようとする。 （授業態度）	・教科書p.97「円周角の定理」は，中学校で学んでいる。	13
	12				○			・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件について，その性質を考えることができる。 ・円の接線と接点を通る弦とのなす角について，その性質を考えることができる。 ・2つの円の位置関係を考えることができる。 ・方べきの定理について，その性質を考えることができる。 （発問評価）		
第3学期	1					○		・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件を用いて，図形の性質を論理的に処理することができる。 ・円の接線と接点を通る弦とのなす角の性質を用いて，角の大きさを求めることができる。 ・円の接線の性質や方べきの定理を用いて，線分の長さを求めることができる。 （課題提出・定期考査）		
							○	・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件について理解している。 ・円の接線と接点を通る弦とのなす角の性質について理解している。 ・方べきの定理について理解している。 ・2つの円の位置関係について理解している。 （定期考査）		
	2	課題学習 卒業レポート	・本文で取り組んだ内容を生活やゲームと関連付けたり発展させたりするなど課題に取り組む。 ・数学を学んだ12年間を振り返り考察する。	○	○	○	○	・各章で学んだ内容を活用して課題を考察できる。 ・自ら課題に取り組もうとしている。 ・本人の文章を読みながら対話をする。 （課題提出）		5

令和５年度　　年間指導計画

物理	高等部　３年　（Ⅰ課程）	単位数：４単位
	教科書　　東京書籍　「物理」	担当者名

1　学習の到達目標等

学習の到達目標	１．物理的な事物・現象に対する探究心を高める。
	２．目的意識をもって観察・実験などを行い，物理的に探究する能力と態度を身につける。
	３．物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を身につける。
	４．科学技術の在り方について意思決定するために必要な，科学的な見方や考え方を身につける。
使用教科書・副教材等	東京書籍『改訂 物理』(物理 308) 傍用問題集『改訂レッツトライノート物理』Vol.1 力学編，Vol.2 熱・波編，Vol.3 電磁気編，Vol.4 原子編 標準問題集『ニューグローバル物理』『改訂ニューグローバル物理基礎＋物理』 『改訂 物理』指導資料　付属 Ｄマイスター（授業プリント，デジタル板書，動画）

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画

学期	学習内容（時間）計 140 時間	月	学習のねらい	備考　1 学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連等　2 副教材の使用など	考査範囲	評価の観点のポイント 関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
第1学期	１編　さまざまな運動 １章　剛体にはたらく力のつり合い (5)	4	・平面内で剛体にはたらく力と力のモーメントがつり合う条件について，実験を通して理解する。また，日常生活とのかかわりの中で，防災などの観点から，物体の重心，関連して物体が転倒しない条件などについて理解する。	Ｍｙラボ どちら向きに回転する？ 観察実験 1 剛体棒を使った石の密度測定	第1学期中間考査	○	○	○	○
	２章　平面上の運動と放物運動 (5)		・平面内の運動を表す変位，速度，加速度がベクトルで表されることを理解する。また，平面内の運動の合成速度，相対速度について理解する。	＜既習内容＞「物理基礎」では，「物体の運動とエネルギー」で，直線上の運動について学習している。 観察実験 2 相対速度 Ｍｙラボ 力の強い方が勝つ？			○		○
		5	・簡単な投射装置を用いた実験などを行い，斜方投射された物体の運動は曲線運動であり，鉛直方向と水平方向に運動を分解して解析できることを理解する。また，速さに比例する抵抗力として空気抵抗を受けるときの力と運動の関係について理解する。	＜既習内容＞「物理基礎」では，「物体の運動とエネルギー」で，物体の鉛直方向への落下運動を中心に学習している。		○	○	○	

			観察実験 3 2 物体の空中同時落下衝突					
３章　円運動と万有引力（7）		・円運動する物体の様子を表す方法やその物体に働く力として，等速円運動の速度，周期，角速度，向心加速度及び向心力について理解する。また，観測者が加速度運動をするときの慣性力や円運動での遠心力について理解する。	観察実験 4 等速円運動の向心力			○	○	○
		・惑星の軌道データなどによりケプラーの法則を学び，惑星の運動に関する法則を理解する。万有引力の法則及び万有引力による物体の運動について，惑星の運動と人工衛星の運動がいずれも万有引力を受けたときの物体の運動として統一的に理解できることを学ぶ。また，万有引力による位置エネルギーについて理解する。	観察実験 5 磁石を使った円錐振り子 観察実験 6 万有引力による運動をイメージする		○	○		○
４章　単振動（5）		・観察や実験，作図などによって単振動と等速円運動を関連付けて理解する。また，単振動をする物体の位置，速度，加速度の表し方を学び，ばね振り子と単振り子を例にして，単振動をする物体には変位に比例する大きさの復元力が働くことを理解する。	観察実験 7 単振り子の周期と重力加速度の大きさ			○	○	
５章　運動量（8）	6	・運動量と力積がベクトルで表される量であり，物体の運動量の変化が物体に働く力積に等しいことを理解する。	観察実験 8 衝突と力積		○	○	○	○
		・2 台の台車などを用いた衝突や分裂の実験をそれぞれの台車の質量などを変えて行い，運動量保存の法則が成り立つことを理解する。	観察実験 9 直線上での力学台車の衝突 Ｍｙラボ 10 円玉はいくつ飛び出す？	第1学期期末考査	○	○	○	
		・いろいろな材質の球を床や机に垂直に落下させてはね返る高さを調べる実験を行い，はね返り係数について理解する。また，弾性衝突と非弾性衝突を取り上げ，物体が衝突する際の力学的エネルギーの減少について，はね返り係数と関連させて理解する。	観察実験 10 物体のはね返りに関する法則性を探る Ｍｙラボ 水風船落下実験大会 Ｍｙラボ 弾性ゴムボールと非弾性ゴムボール			○		○

	６章　気体分子の運動と圧力（5）		・理想気体について，ボイルの法則やシャルルの法則を含めた気体の状態方程式を理解する。また，気体分子の速さや平均の運動エネルギーと気体の圧力，絶対温度（熱力学温度）の関係について理解する。	＜既習内容＞「物理基礎」では，「様々な物理現象とエネルギーの利用」で，原子や分子の熱運動と温度の関係について学習している。 観察実験 11 気柱を使ったボイルの法則			○	○	○
			・気体の内部エネルギーについて，気体の分子運動と関連付けて理解し，理想気体について，内部エネルギーが絶対温度に比例することを理解する。	＜既習内容＞「物理基礎」では，「様々な物理現象とエネルギーの利用」で，内部エネルギーの存在について学習している。		○			○
	７章　気体の状態変化（7）		・気体の状態変化における熱，仕事及び内部エネルギーの関係について理解する。	＜既習内容＞「物理基礎」では，「様々な物理現象とエネルギーの利用」で，熱と仕事の変換について学習している。			○		○
		7	・等圧変化（定圧変化）などの気体の状態変化において，内部エネルギーを含めたエネルギー保存の法則として熱力学第１法則が成り立つことを理解する。	観察実験 12 圧縮発火実験		○	○		○
			・熱機関とその熱効率，及び熱現象の不可逆性について学び，エネルギーの有効利用についての理解を深める。また，熱力学第法２則について理解する。	観察実験 13 熱機関の効率		○	○		
	探究活動（6）		・様々な運動や熱とその利用に関する探究活動を行い，学習内容の理解を深めるとともに，物理学的に探究する能力を高める。	探究 1～8 の中または，探究 PLUS から選択		○	○	○	○
第２学期	**２編　波** **１章　波の性質**（5）	9	・波の伝わり方として，ホイヘンスの原理，水面波の反射・屈折及び屈折率について理解する。また，波の表し方として，波の式及び位相について理解する。	＜既習内容＞「物理基礎」では，「様々な物理現象とエネルギーの利用」で，直線状に伝わる波の基本的な性質について学習している。 観察実験 14 波の式をコンピュータでグラフ化する	第２学期中間考査		○		○
			・水波実験器などを用いた水面波の観察を通して，波の回折や干渉の性質について理解する。	観察実験 15 水波投影機による波の観察			○		○

２章　音（6）		・実験などを通して，音の干渉，回折及び屈折について理解する。	＜既習内容＞「物理基礎」では，「様々な物理現象とエネルギーの利用」で，気柱の共鳴，弦の振動及び音の性質について学習している。 観察実験 16 　音波による干渉	○	○	○	
		・音源や観測者が同一直線上を動いているときに観測される ドップラー効果について理解する。また，音源が音速以上の速さで動いているときに起こる現象についても理解する。	Ｍｙラボ 　ブザーでドップラー効果 観察実験 17 　動く音源の音の観測	○	○		○
３章　光（9）		・光の反射，屈折，分散，偏光，速さ，波長などについて，観察，実験を通して理解する。また，偏光板やプリズムを用いた光の観察などを通して，光は横波であることや，光のスペクトルについて理解する。	＜既習内容＞中学校では，第１分野「身近な物理現象」で，光の反射や屈折の規則性及び凸レンズのはたらきについて学習している。 Ｍｙラボ 　夕焼けをつくってみよう Ｍｙラボ 　円筒形の容器を使った全反射 観察実験 18 　光の反射，屈折，分散	○		○	○
	10	・ヤングの実験，回折格子及び薄膜の干渉などの観察，実験を通して，光の回折，干渉，光路長，反射による位相のずれについて理解する。	観察実験 19 　回折格子	○	○	○	
		・鏡とレンズの幾何光学的な性質として，凹面鏡や単一レンズの焦点の存在や光の進路の規則性について理解する。	Ｍｙラボ 　盲斑の検出		○	○	
探究活動（3）		・波に関する探究活動を行い，学習内容の理解を深めるとともに，物理学的に探究する能力を高める。	探究 9〜11 の中または，探究 PLUS から選択	○	○	○	○
３編　電気と磁気 **１章　電場と電位**（14）		・電荷が相互に及ぼし合う力や電場（電界）の表し方について理解する。	＜既習内容＞中学校では，第１分野「電流とその利用」で，静電気と電流について学習している。		○		○
		・摩擦帯電や箔検電器の実験，電場の様子の観察などを通して，電荷が相互に及ぼし合う力，電気量の保存，電界の性質，電気力線について理解する。	観察実験 20 　電場のようすを観察する			○	○

		・導電性の紙を使って等電位線を調べる実験などを通して，電荷の移動と仕事の関係，電場と電位の関係，及び電位の基準点について理解する。	観察実験 21 導電性の紙を使って電位を視覚化する			○		○
		・電場中の物体の様子やその内外の電場について理解し，箔検電器などの実験を通して，静電誘導，静電遮蔽（シールド），誘電分極について理解する。	観察実験 22 箔検電器で帯電の正・負を確かめる		○		○	
	11	・コンデンサーの放電などの実験を通して，充電と放電，電気容量，空気中に置かれた平行板コンデンサーなどの基本的な性質について理解する。また，コンデンサーの接続における合成容量や，電気容量と誘電体との関係について理解する。	観察実験 23 コンデンサーの充放電	第2学期 期末考査	○		○	○
2章　電流 (7)		・電池の起電力と内部抵抗の測定や，ホイートストンブリッジによる抵抗値の測定などを通して，キルヒホッフの法則，抵抗率の温度変化，電球の電流特性などについて理解する。また，コンデンサーを含む電気回路や，半導体の特性について理解する。	＜既習内容＞中学校では，第１分野「電流とその利用」で，電流・電圧と抵抗，回路と電流・電圧について学習している。また，「物理基礎」では，「様々な物理現象とエネルギーの利用」で，物質によって抵抗率が異なること，電気の利用について学習している。 観察実験 24 電池の起電力と内部抵抗の測定 観察実験 25 メートルブリッジで未知抵抗の測定		○	○	○	○
３章　電流と磁場 (7)	12	・観察，実験を通して，直線電流のまわり，円形電流の中心，ソレノイドの内部にできる磁場について理解する。	＜既習内容＞中学校では，第１分野「電流とその利用」で，電流がつくる磁場について学習している。 観察実験 26 電流がつくる磁場 観察実験 27 ソレノイド内の磁場		○	○		○
		・観察，実験を通して，電流が磁場から受ける力を表す式やローレンツ力について理解する。	＜既習内容＞中学校では，第１分野「電流とその利用」で，磁場中の電流が受ける力について学習している。		○	○		○

	４章　電磁誘導と電磁波（14）		・コイルを貫く磁束が変化するとき及び導線が磁束を横切るときに生じる誘導起電力，自己誘導，相互誘導，渦電流，交流発電機の仕組みなどについて理解する。	＜既習内容＞中学校では，第１分野「電流とその利用」で，コイルや磁石を動かすことにより電流が得られることについて学習している。 Ｍｙラボ 渦電流による現象を実感してみよう 観察実験 28 自己誘導による高電圧の発生		○	○	○	
第3学期		1	・交流回路におけるコンデンサーやコイルのリアクタンス，抵抗とコンデンサーとコイルを直列につないだ回路のインピーダンスについて理解する。	＜既習内容＞「物理基礎」では，「様々な物理現象とエネルギーの利用」で，交流の発生，送電及び利用について学習している。 観察実験 29 交流回路	学年末考査		○	○	○
			・ヘルツの実験の再現などの実験を通して，電磁波の基本的な性質，電気振動，電磁波の発生，及び電波の利用について理解する。	観察実験 30 ヘルツの実験の再現		○			○
	探究活動（3）		・電気や磁気に関する探究活動を行い，学習内容の理解を深めるとともに，物理学的に探究する能力を高める。	探究 12～14 の中または，探究 PLUS から選択		○	○	○	○
	４編　原子 **１章　電子と光**（6）		・電子の発見に関する歴史的な実験にも触れながら，真空放電などの実験を通して，電子の比電荷，電気素量について理解する。	＜既習内容＞中学校では，第１分野「電流とその利用」で，電子の存在について学習している。 観察実験 31 真空放電		○	○		○
		2	・プランク定数の測定などの実験を通して，光電効果，光量子仮説，電子線回折，物質波について理解する。また，Ｘ線の性質や利用について理解する。	＜既習内容＞「物理基礎」では，「様々な物理現象とエネルギーの利用」で，波の性質，太陽光のエネルギーの利用について学習している。 観察実験 32 光電効果		○		○	

	２章　原子と原子核（11）		・α粒子の散乱実験などの科学史を通して，原子の構造について理解する。また，水素原子のスペクトルの観察などを通して，スペクトルの波長に規則性があることや，ボーアの原子モデルなどを学び，原子が出す光のスペクトルと電子のエネルギー準位の関係について理解する。	＜既習内容＞中学校では，第１分野「化学変化とイオン」で，原子が電子と原子核からできていること，原子核が陽子と中性子でできていることについて学習している。 観察実験 33 スペクトルの観察		○	○		○
			・原子核の構成，原子核の崩壊，半減期，核分裂，核融合，原子核反応を扱い，質量とエネルギーの等価性，及び原子力発電のしくみについて理解する。	＜既習内容＞「物理基礎」では，「様々な物理現象とエネルギ ーの利用」で，放射線及び原子力の利用について学習している。 観察実験 34 半減期		○			○
			・クォークとレプトンなどの素粒子の存在，及び４つの基本的な力（強い力，電磁気力，弱い力，重力）などについて理解する。	観察実験 35 最新の粒子加速器		○	○		
	終章　物理学が築く未来（4）	3	・物理学の発展と成果が科学技術の基盤をつくり，それらが様々な分野において応用され，未来の社会の形成，未知の世界の探究に大きな役割を果たしていることを理解する。また，物理学の発展によってもたらされる新しい科学技術について，その恩恵とリスクについて理解する。	観察実験 36 ナノテクノロジーについて調べる		○	○		
	探究活動（3）		・原子に関する探究活動を行い，学習内容の理解を深めるとともに，物理学的に探究する能力を高める。	探究 15 または，探究 PLUS から選択		○	○	○	○

【評価方法】

【関心・意欲・態度】

行動観察や提出物，及び質問紙調査などを手がかりに，以下の点に留意して評価する。

・学習活動（質疑応答，討論，演習，実験・観察など）に積極的に参加したか。

・提出物の作成（レポートや授業ノートなど）に意欲的に取り組んだか。

・集中して授業を受けたか。

・科学技術の在り方について関心をもち，話し合いや探究活動に意欲的に参加したか。

【思考・判断・表現】

行動観察や提出物，及び定期考査の論述問題などを手がかりに，以下の点に留意して評価する。

・思考の「過程」を評価する。例えば計算ミスなどがあって正しい結論に至らなかったとしても，その思考過程が物理的に正しく，

しっかり判断もできていれば十分な評価を与えたい。

・討論，レポート作成，論述問題などで，科学的な根拠に基づいて述べることができているか。

・観察・実験から得られた事実，文献や Web などから得た情報，自分の考えをはっきり区別して表現できているか。

・探究活動などで，実験方法を自分で考えたり，仲間と議論しながら行うことができているか。
・実験結果や自分の考えをグラフや図表にするなど，分かりやすく表現できているか。

【観察・実験の技能】

行動観察や提出物，及びパフォーマンステストなどを手がかりに，以下の点に留意して評価する。

・観察・実験を安全に遂行できたか。
・それぞれの操作の意味を理解して，正確に遂行できたか。
・データの取り方が適切であったか（とりこぼし，計測ミスなどがないかどうか）。
・データの処理が適切であったか（間違いがないか，有効桁数などが適切か）。
・グラフを有効に活用できているか（目盛の設定）。

【知識・理解】

主に定期考査や小テストなどの成績に基づいて評価する。

テスト問題の作成にあたっては，知識の活用力・応用力を測るような問題や，論述式の問題も取り入れたい。

また，実験などのレポートでは，授業で学習した内容が正しく理解され，知識となってきちんとレポートに反映されているかどうかを見る。

令和５年度 高等部　３年（Ⅰ課程）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	（知及技）運動の特性・多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。 （思判表力）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な 解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 （学・人）運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	（知及技）体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力の維持・向上のために計画を立て実生活に役立てる事ができる。 （思判表力）自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたこと他者に伝えることができる。 （学・人）体つくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること健康・安全を確保できる。	（知・技）体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力の維持・向上のために計画を立て実生活に役立てている。 （思・判・表）自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたこと他者に伝えている。 （主学）体つくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること健康・安全を確保できている。	体つくり運動	【学習内容】 ・10分間走、 ・ストレッチや体操 ・課題トレーニング ・用具を用いた運動 ・リズムにのって行う運動 ・サーキット
	8	（知及技）短距離走・リレーの記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，自己に適した中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることでき。 （思判表力）動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。 （学・人）陸上競技に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができる。	（知・技）短距離走・リレーの記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，自己に適した中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることできている。 （思・判・表）動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 （主学）陸上競技に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができている。	陸上競技	【学習内容】 ・短距離離走 ・リレー
	12	（知及技）浮く、進む、呼吸をする等の基本的な技能や、複数の泳法及び自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。また安全確保につながる運動の習得や技術の名称や行い方、体力の高め方、解決の方法を理解することができる。 （思判表力）自己の課題を発見し合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 （学・人）水泳に自主的に取り組むとともにルールーやマナーを大切にしようとすること事故防止に関する心得を遵守する事ができる。	（知・技）浮く、進む、呼吸をする等の基本的な技能や、複数の泳法及び自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。また安全確保につながる運動の習得や技術の名称や行い方、体力の高め方、解決の方法を理解することができる。 （思・判・表）自己の課題を発見し合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 （主学）水泳に自主的に取り組むとともにルールーやマナーを大切にしようとすること事故防止に関する心得を遵守する事ができている。	水泳	【学習内容】 水に慣れ親しみ、水中運動ができ、自己に応じた泳法や課題に挑戦すること。 ・浮く ・進む→歩行, プル, キック ・呼吸、息継ぎ（顔つけ） ・泳法の習得 （長く泳ぐ、速く泳ぐ）
2学期	8	（知及技）多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開する事ができる。 （思判表力）効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。 （学・人）勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること　互いに助け合い高め合うことができる。	（知・技）多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開する事ができている。 （思・判・表）効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができるている。 （主学）勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること　互いに助け合い高め合うことができている。	ボッチャ（コンタック）	【学習内容】 ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦
	8	（知及技）安定したボール操作と空間を作りだすなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 （思判表力）攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 （学・人）球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，　作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができる。	（知・技）安定したボール操作と空間を作りだすなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できている。 （思・判・表）攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。 （主学）球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，　作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができている。	車イスサッカー（ＰＫ）	【学習内容】 ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦

	6	（知及技）多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開する事ができる。 （思判表力）効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。 （学・人）勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること　互いに助け合い高め合うことができる。	（知・技）多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開する事ができている。 （思・判・表）効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができるている。 （主学）勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること　互いに助け合い高め合うことができている。	ボウリング	【学習内容】 ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦
３ 学 期	8	（知及技）役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。技術の名称や戦術、作戦の行い方が分かる。また競技の特性を理解し楽しむことができる。 （思判表力）攻防などの自己やチームの課題を発見し合理的な解決に向けて工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 （学・人）球技に自主的に取り組む。フェアプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	（知・技）役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。技術の名称や戦術、作戦の行い方が分かる。また競技の特性を理解し楽しむことができている。 （思・判・表）攻防などの自己やチームの課題を発見し合理的な解決に向けて工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。 （主学）球技に自主的に取り組む。フェアプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができている。	バレーボール（風船バレー）	【学習内容】 ・チーム練習 ・ゲーム
	8	（知及技）ポジションの役割に応じたボールや用具の安定した操作と仲間と連携した「拾う，つなぐ，打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして，　相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 （思判表力）攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 （学・人）球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができる。	（知・技）ポジションの役割に応じたボールや用具の安定した操作と仲間と連携した「拾う，つなぐ，打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして，　相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できている。 （思・判・表）攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。 （主学）球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができている。	ゴロ卓球	【学習内容】 ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦
留意点 引継ぎ等					

令和５年度 高等部　３年（Ⅰ課程）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70	教育芸術社「高校生の音楽２」	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 (学･人) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) ・曲想と歌詞との関わりについて理解することができる。 (思判表力) 旋律や声の音色を理解して，どのように歌唱表現するかについて表現意図をもつことができる。 (学･人) 曲にふさわしい発声に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組むことができる。	(知・技) ・曲想と歌詞との関わりについて理解しようとしている。 (思･判･表)旋律や声の音色を理解して，どのように歌唱表現するかについて表現意図をもとうとしている。 (主学)正しい発声を身につけ、表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	豊かな響きで歌おう 「発声」 「校歌」 「翼をください」 「糸」	【学習内容】 ・呼吸や口の形など発声の基本を学習する。 ・歌うことの楽しさを感じる。 ・曲にふさわしい歌い方や表現を変える。 ・楽譜や歌詞を見て歌う力（視唱・読譜）を養う。
	8	（知・技) ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解することができる。 （思判表力) ・旋律や言葉（歌詞）と楽曲の美しさとの関わりについて考え，どのように歌唱表現するかについて表現意図を持つことができる。 （学・人) ・イタリアアリアに関心をもち，楽曲の雰囲気をもって，主体的・協働的に歌唱の活動に取り組むことができる。	（知・技) ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しようとしている。 （思・判・表) ・旋律や言葉（歌詞）と楽曲の美しさとの関わりについて考え，どのように歌唱表現するかについて表現意図をもとうとしている。 （主学) ・イタリアアリアに関心をもち，楽曲の雰囲気をもって，主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	ヨーロッパの歌 「うつろの心」 「女心の歌」	【学習内容】 ・イタリア語の発音の特徴を理解する。 ・楽曲にあるリズム，旋律，ハーモニーの関わりを理解する。 ・歌詞の内容，曲想を理解し，楽曲に合わせた表現をして歌う。
	10	（知及技) ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な姿勢、勘所等について、表したいイメージと関わらせて演奏することができる。 （思判表力) ・音色やリズム，旋律等の関係を知覚し，それらの働きを感受し，特徴をとらえて，どのように音楽を作り出し，自ら表現するかについて表現意図を持つことができる。 （学・人) ・三線の演奏や郷土の音楽について関心をもち，主体的・協働的に器楽の活動に取り組むことができる。	（知・技) ・正しい姿勢、工工四の読み方、勘所等について理解し、表したいイメージと関わらせて演奏しようとしている。 （思・判・表) ・音色やリズム，旋律等の関係を知覚し，それらの働きを感受し，特徴をとらえて，どのように音楽を作り出し，自ら表現するかについて表現意図をもとうとしている。 （主学) ・三線の演奏や郷土の音楽について関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	器楽・鑑賞 「三線の花」 「沖縄の音楽」	【学習内容】 ・沖縄の音楽（特徴・歴史・楽器等）や学習曲についてiPad等で調べる。調べた内容を発表する。 ・担当する楽器の奏法を学ぶ。個人練習やパート練習を行う。 ・器楽表現を工夫する。 ・曲にふさわしい表現で、主体的に器楽合奏（コンサート）を行う。 ・ワークシートや演奏時の動画等を通して、題材全体の振り返り活動をする。
２学期	8	（知及技) ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，楽曲にふさわしい発声，言葉（歌詞）の発音などの技能を身に付けることができる。 （思判表力) ・旋律と楽曲の美しさとの関わりについて考え，どのように歌唱表現するかについて表現意図を持つことができる。 （学・人) ・楽曲の美しさに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の活動に取り組むことができる。	（知・技) ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，楽曲にふさわしい発声，言葉（歌詞）の発音などの技能を身につけようとしている。 （思・判・表) ・旋律と楽曲の美しさとの関わりについて考え，どのように歌唱表現するかについて表現意図をもとうとしている。 （主学) ・楽曲の美しさに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	合唱曲、歌曲 「流浪の民」 「夢のあとに」	【学習内容】 ・歌詞や発音（鼻濁音，子音など）に注意して歌う。 ・歌詞の内容，曲想を理解し，楽曲に合わせた表現をして歌う。

	10	（知及技） ・それぞれの作品の楽曲（ナンバー）の特徴や作品の時代背景（文化），舞台作品としての表現方法を理解することができる。 （思判表力） ・リズムと旋律の関係を知覚して，それらの働きを感受し，音楽の美しさや特徴をとらえて，どのように歌唱表現するかについて表現意図を持つことができる。 （学・人） ・物語や登場人物，それぞれのナンバーに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や鑑賞の活動に取り組むことができる。	（知・技） ・それぞれの作品の楽曲（ナンバー）の特徴や作品の時代背景（文化），舞台作品としての表現方法を理解しようとしている。 （思・判・表） ・リズムと旋律の関係を知覚して，それらの働きを感受し，音楽の美しさや特徴をとらえて，どのように歌唱表現するかについて表現意図をもとうとしている。 （主学） ・物語や登場人物，それぞれのナンバーに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	ミュージカル 「ウエストサイドストーリー」 「コーラスライン」	【学習内容】 ・それぞれの作品を鑑賞し，物語の内容，登場人物の心情を理解する。 ・リズムと旋律の関わり理解し，互いに歌い，曲想や歌詞の内容を理解し，楽曲に合わせた表現をして歌う。
	10	（知及技） ・コードポジションを理解し、弾いたときの響きや，音型の特徴について，表したいイメージと関わらせて演奏することができる。 （思判表力） ・音色やリズム，旋律，和音の関係を知覚し，それらの働きを感受し，特徴をとらえて，どのように音楽を作り出し，自ら表現するかについて表現意図を持つことができる。 （学・人） ・弦楽器の演奏や，独奏やアンサンブルの演奏をすることに関心をもち，主体的・協働的に創作活動や器楽の活動に取り組むことができる。	（知・技） ・コードポジションを弾いたときの響きや，音型の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解しようとしている。 （思・判・表） ・音色やリズム，旋律，和音の関係を知覚し，それらの働きを感受し，特徴をとらえて，どのように音楽を作り出し，自ら表現するかについて表現意図をしようとしている。 （主学） ・弦楽器の演奏や，独奏やアンサンブルの演奏をすることに関心をもち，主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	器楽ギター 「Stand　By　Me」	【学習内容】 ・ギターの基本的な奏法（コード伴奏、メロディ等），演奏表現に必要な技術を学習する。 ・楽曲のイメージをもって，演奏表現の工夫をする。 ・音量のバランスを工夫して演奏する。
３学期	6	（知・技） ・盗難アジア地域の様々な音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解することができる。 （思判表力） ・音色やリズム，テクスチュアを知覚し，それらの働きを感受しながら，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 （学・人） ・東南アジア地域の様々な音楽に関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組むことができる。	（知・技） ・インドネシア、インド、タイに伝わる芸能のそれぞれの特徴を理解しようとしている。 （思・判・表） 音色やリズム，テクスチュアを知覚し，それらの働きを感受しながら，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴こうとしている。 （主学） ・東南アジア地域の様々な音楽に関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。	世界の心 「ラーマ物語」	【学習内容】 ・東南アジア地域の音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。 ・それぞれの音楽の共通点や違いについて考える。 ・社会にとっての音楽の意味や価値について考える。
	10	（知及技） ・曲想と楽曲の構造（声で表現するリズムアンサンブル）との関わりについて理解することができる。 （思判表力）互いに声の響きを感じ取りながら，どのように演奏するかについて表現意図を持つことができる。 （学・人） ・声でのアンサンブルの演奏をすることに関心をもち，主体的・協働的にリズムの創作活動や自らの声での演奏活動に取り組むことができる。	（知・技） ・曲想と楽曲の構造（声で表現するリズムアンサンブル）との関わりについて理解しようとしている。 （思・判・表）・ 互いに声の響きを感じ取りながら，どのように演奏するかについて表現意図をもとうとしている。 （主学） ・声でのアンサンブルの演奏をすることに関心をもち，主体的・協働的にリズムの創作活動や自らの声での演奏活動に取り組もうとしている。	歌唱 「卒業の歌」 「ポピュラー音楽」	・楽譜から正確なリズムを読み取り（読譜），声を発して表現をする。 ・それぞれの役割（パートごとのリズム，言葉など）を果たし，互いに聴き合いながら，リズムの関係や声の響きの調和を作り出す。 ・楽曲の曲想について，互いに共通の意識をもって，音楽を作り出すようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和５年度　高等部　３年(Ⅰ課程)　英語会話　年間指導計画

単位数/配当時数　2/70　教科書/副教材等　SELECT English Conversation New Edition　　担当者名

●年間指導計画一覧表

3学期制	2学期制	月	課	タイトル	内容	主な文法事項	配当時間
１	１			スターになって自己紹介	自己紹介ゲーム		2
		4	1	New Friends はじめまして	興味あるものを言う	未来表現／不定詞（名詞用法）	3
		5	2	Free Time フリータイム	余暇について話す	現在形／過去形	4
			3	Are you okay? 元気？	体調や体調についてのアドバイスを話す	助動詞 should	3
		6		亜紀と拓の留学日記１ The Host Family’s House	海外生活・ホームステイ先でのあいさつを学ぶ		3
				Games in English 1: Square Game	英語でゲーム１		3
			4	Our School 私たちの学校	学校について話す	There is/are～.	4
		7	5	Weather 天気・気候	天気・天候について話す	助動詞 will	4
2		9	6	TV Programs 好きな番組	自分の好みを言う	動名詞	4
				亜紀と拓の留学日記２ Helping the Family	海外生活・ホームステイ先での日常会話を学ぶ		3
				Games in English 2: Guess What! Game	英語でゲーム２		3
	2	10	7	Talking on a Cell Phone 携帯電話	都合をたずねる、待ち合わせをする（今話せるか、電源を切る、メールなど携帯電話特有の表現）	現在完了形	4
			8	Telling the Way 道案内	道をたずねる	S+V+O+O の文型	3
		11		亜紀と拓の留学日記３ School Life	海外生活・学校での会話を学ぶ		3
			9	Kyoto 観光案内	乗り物での行き方をたずねる	How long ~ ?	4
		12	10	Shopping 買い物	欲しいものを買う	現在進行形／S+V+C の文型	4
3		1	11	Restaurant 食事	食事を注文する	不定詞（形容詞的法）	4
		2		亜紀と拓の留学日記４ Enjoying Holidays	海外生活・観光に必要な会話を学ぶ		3
				Games in English 3: Math Bingo Game	英語でゲーム３		3
			12	Making a Plan 約束	誘う、誘いに応じる	Let’s ~. Shall we ~?	4
		3	13	Future Jobs 将来やりたいこと	なりたい職業について話す	Why-Because／不定詞（副詞用法）	4
【付録】「教室で使う表現」「よく使う会話表現」							70

平成 25 年度 SELECT English Conversation 観点別評価規準例

1　各課の観点別評価規準例

Lesson 1 New Friends

①聞くこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・初めて会った人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。

（コミュニケーションの継続）

・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

（正確な聞き取り）

・Which や What などで始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。

（適切な聞き取り）

・出身地などはどこかをたずねる表現を聞いて、キーワード（be from など）を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
・出身地などを答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・疑問詞で始まる疑問文は、文尾を下げたイントネーションで発話することを知っている。・出身地はどこかたずね、答える表現を知っている。・入りたいクラブをたずね、答える表現の意味を知っている。
・趣味は何かをたずね、答える表現の意味を知っている。

（文化についての理解）

・相手の目をみて聞くことが大切であることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・自分に関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p.9 の SPEAKING 活動や p.10 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・疑問詞で始まる疑問文と Yes/No で答えられる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けることができる。

（適切な対話）

・出身地が同じであろうと思われるクラスメートには出身中学校、出身地がよくわからない人には出身地をたずねるなど、相手や場面によって適切な質問をすることができる。

●理解の能力

（正確な対話）

・初対面での対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話された初対面での質問や自己紹介の表現が正しく理解できる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・初対面での対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。

（文化についての理解）

・教科書 p.8 に掲載されているように、自分について質問されたら、肯定的に返答することが大切であることを理解している。
・初対面でたずねてよいこととよくないことを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・教科書 p.9 の SPEAKING 活動や p.10 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

（コミュニケーションの継続）

・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発話）
・疑問詞で始まる文の最後のイントネーションは下げて発話することができる。
・be from ~を使って出身地や出身校をたずねることができる。
・be from ~を使って出身地や出身校を答えることができる。
（適切な発話）
・相手の目を見て話すことができる。
・大きな声ではっきりと発話することができる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・相手に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞を使って質問することを知っている。
・疑問詞で始まる疑問文と Yes/No で答えられる疑問文の文尾のイントネーションが異なることを知っている。
（文化についての理解）
・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。
（コミュニケーションの継続）
・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。
●表現の能力
（正確な発表）
・be from, want to, be interested in の表現を用いて、クラスメートの出身地（出身校）、入りたいクラブ、趣味をクラス全員に知らせることができる。
（適切な発表）
・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
・自己紹介、クラスメートの紹介をするときの表現を理解している。
（文化についての理解）
自己紹介や知り合いの紹介は、謙遜ではなく、肯定的な情報を伝えるべきであることを理解している。

Lesson 2 Free Time
①聞くこと
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・休日の過ごし方に関して積極的に相手から情報を得ようとする意欲を示している。
・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。
（コミュニケーションの継続）
・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。
●理解の能力
（正確な聞き取り）
・How や What で始まる疑問文を聞いて、休日の過ごし方に関する内容を正確に理解することができる。
・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
・LISTENING で使用されている休日の過ごし方の英語をきいて内容を正しく理解できる。
・Challenge!!（オプション）の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。
（適切な聞き取り）
・通常の休日の過ごし方をたずねる表現を聞いて、キーワード（How do you spend～?）を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
・通常の休日の過ごし方を答える表現を聞いて、キーワード（I usually play～.）を聞き取ることができ、内容を
●知識・理解
（言語についての知識）
・tennis, weekend は、第 1 音節を強く発音することを知っている。
・Saturday, usually は、第 1 音節を強く発音することを知っている。
・通常の休日の過ごし方をたずね、答える表現を知っている。
・過去の休日の過ごし方をたずね、答える表現の意味を知っている。
・休日の過ごし方の予定をたずね、答える表現の意味を知っている。
（文化についての理解）
・How do you spend your free time?という表現は、趣味をたずねているのと同じであることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・休日の過ごし方を相手に伝えようとする意思を示している。

・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p.15 の SPEAKING 活動や p.16 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・単語の発音の強弱を正しく使い分けることができる。

・休日の過ごし方を現在形、過去形、未来形（be going to）など時制を正しく使い分けてたずね、答えることができる。

（適切な対話）

・通常の休日の過ごし方（趣味）をたずねたい場合、過去（先週など）の休日の過ごし方をたずねたい場合、休日の予定をたずねたい場合など、場面によって適切な質問をすることができる。

・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

●理解の能力

（正確な対話）

・休日の過ごし方に関する対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話された休日に関する質問が正しく理解できる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・休日の過ごし方（Key Expressions）に関する文法（POINTS）と単語の発音の強弱（SOUNDS）を正確に理解している。

（文化についての理解）

・教科書 p.15 に掲載されているように、How do you spend your free time?と質問されたら、趣味について返答すればよいことを理解している。

③話すこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・教科書 p.15 の SPEAKING 活動や p.16 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

（コミュニケーションの継続）

・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発話）

・tennis, weekend は第 1 音節に、Saturday, usually は第 1 音節にストレスをおいて発音することができる。

・How do you spend～?を使って通常の休日の過ごし方（趣味）をたずねることができる。

（適切な発話）

・相手の目を見て話すことができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・通常の休日の過ごし方（趣味）をたずねる場合は現在形、過去の休日の過ごし方をたずねる場合は過去形、休日の過ごし方の予定をたずねる場合は be going to～?を使って質問することを知っている。

（文化についての理解）

・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。

（コミュニケーションの継続）

・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発表）

・she(he) usually (plays)～, she(he) (played), she(he) is going to～の表現を用いて、クラスメートの通常の休日の過ごし方（趣味）、過去の休日の過ごし方、休日の過ごし方の予定をクラス全員に知らせることができる。

（適切な発表）

・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。

（文化についての理解）

・自分や知り合いの休日の過ごし方を紹介する場合は、謙遜ではなく、肯定的な情報を伝えるべきであることを理解している（「寝る」「食べる」「何もしない」などは避ける）。

Lesson 3 Are You Okay?

①聞くこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・相手の健康状態や、アドバイスに関して積極的に相手から情報を得ようとする意欲を示している。

（コミュニケーションの継続）

・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。

●理解の能力

（正確な聞き取り）

・相手の健康状態をたずねたり答えたりする表現 Are you okay?　I have a ~.などを使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・Are you～?で始まる疑問文は、文尾を上げたイントネーションで発話することを知っている。

（文化についての理解）

・医師に対して症状を示す表現には、なじみのないものが多いことを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・相手の健康状態や、アドバイスに関しての自分の情報を相手に伝えようとする意思を示している。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p.21 の SPEAKING 活動や p.22 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・疑問詞で始まる疑問文と Are you～?で始まる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けることができる。

（適切な対話）

・相手の体調やアドバイスに積極的に関心を示し、対話を継続することができる。

・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

●理解の能力

（正確な対話）

・体調についての対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話された好きな事柄に関する質問や応答表現を正しく理解することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・体調やアドバイスについての対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。

（文化についての理解）

・医師に対して症状を示す表現には、なじみのないものが多いことを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・教科書 p.21 の SPEAKING 活動や p.22 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

（コミュニケーションの継続）

・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている

●表現の能力

（正確な発話）

・あいさつの表現である How are you?を、適切に発話することができる。

（適切な発話）

・相手の目を見て話すことができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・should のあとには動詞の原形がきて、ひとになにかを提案することができることを理解している。

（文化についての理解）

・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。

・教科書 p. 23 のスキットを何度も練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。

（コミュニケーションの継続）

・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャー用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発表）

・教科書 p.23 の Challenge!!（オプション）での原稿を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。

（適切な発表）

・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。

（文化についての理解）

・文化によっては、体調をできるだけ良く言う傾向があることを理解している。

Lesson 4 Our School

①聞くこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・相手の通学する（出身）学校に関して積極的に相手から情報を得ようとする意欲を示している。

・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。

（コミュニケーションの継続）

・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。

●理解の能力

（正確な聞き取り）

・学校に関する事柄をたずねたり答えたりする表現、How big～?, Is there something famous～?, When is～?, There are～, It’s on～.を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。

（適切な聞き取り）

・学校の大きさをたずねる表現を聞いて、キーワード（How big～?）を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。。

●知識・理解

（言語についての知識）

・教科書 p.27 の SOUNDS で示されているように、文の中で強く発音された単語は、その文の意味を理解するのに重要であることを知っている。

（文化についての理解）

・教科書 p.29 に掲載されているように、欧米人は自分のことや家族、学校を控えめに言うのではなく、よい面を積極的にアピールすることがよくあることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・自分が通学する学校について相手に伝えようとする意思を示している。

・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p.30 の SPEAKING 活動や p.31 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・学校の大きさ、特徴（有名なもの、こと）、行事日程について、正しい表現を使ってたずねたり、答えたりすることができる。

（適切な対話）

・相手の学校に関して積極的に関心を示し、質問し、自分の学校について話したりながら対話を継続することができる。

・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

●理解の能力

（正確な対話）

・学校に関する対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話された好きな事柄に関する質問や応答表現を正しく理解することができる。

・聞かれたことに対して、素早く適切に自分の学校についての情報を相手に知らせることができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・学校についての対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）と発音の強弱（SOUNDS）を正確に理解している。

・教科書 p.29 に掲載されているように、I’m proud of～.が「誇りに思っている」という意味で、自分のことや家族、学校のよい面をアピールするのによく使われることを知っている。

（文化についての理解）

・教科書 p.29 に掲載されているように、自分のことや家族、学校を控えめに言うのではなく、よい面を積極的にアピールすることが大切であることを理解している。

③話すこと
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・教科書 p.30 の SPEAKING 活動や p.31 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。
（コミュニケーションの継続）
・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている
●表現の能力
（正確な発話）
・教科書 p.27 の SOUNDS にあるように、発音の強弱に注意しながら文を発話することができる。
（適切な発話）
・相手の目を見て話すことができる。
・大きな声ではっきりと発話することができる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・There is～.（単数）There are～.（複数）を使って「～があります」という意味になることを知っている。
・something を修飾する形容詞は、something の後にくる（something famous など）ことを知っている。
（文化についての理解）
・発話の際には、自分のことや家族、学校のよい面を積極的にアピールするのが大切であることを理解している。
④口頭で発表すること
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。
（コミュニケーションの継続）
・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。
●表現の能力
（正確な発表）
・there are～, ～is famous, on～の表現を用いて、クラスメートの架空の学校についての情報をクラス全員に知らせることができる。
・教科書 p.32 の Challenge!!（オプション）での原稿を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。
（適切な発表）
・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
Lesson 5 Weather
①聞くこと
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・天気や気候をたずね、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。
（コミュニケーションの継続）
・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
●理解の能力
（正確な聞き取り）
・How, What などで始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
（適切な聞き取り）
・How is the weather in ~ today? を使った今日の天気をたずねる表現を聞いて、相手が聞きたいところの場所を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・天気予報の表現で、文の区切りに注意するところを知っている。
（文化についての理解）
・日本人と同じように、イギリス人やアメリカ人もよく天気のあいさつから会話を始めることを知っている。
②対話すること
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・天気・気候などに関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。
（コミュニケーションの継続）
・教科書 p. 36 の SPEAKING 活動や pp. 37~38 の PAIR WORK 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力
（正確な対話）
・ What is the weather forecast for tomorrow ~?の疑問文と It will be cloudy ~. で始まる未来形を用いた天気予報の表現で、文の区切りに注意して言うことができる。
（適切な対話）
・ある場所の天気や気候によって、sunny, cloudy, rainy, snowy, windy などの天気の表現を使い分けたり、 hot, cool, dry, cold, humid などの気候を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な対話をすることができる。
・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる
●理解の能力
（正確な対話）
・天気・気候の対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。
（適切な対話）
・自然な口調で話された天気や気候の質問や答えの表現が正しく理解できる。
・きかれたことに対して、素早く適切に相手に知らせることができる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・天気と気候の対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。
（文化についての理解）
・教科書 p . 35 に掲載されているごとく、イギリス人やアメリカ人も日本人と同じようによく天気のあいさつから会話を始めることを知っている。

③話すこと
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・教科書 p. 36 の SPEAKING 活動や pp. 37~38 の PAIR WORK 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。
（コミュニケーションの継続）
・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。
●表現の能力
（正確な発話）
・ What is the weather forecast for tomorrow ~?の疑問文と、It will be cloudy ~. で始まる未来形を用いた天気予報の表現で、文の区切りに注意して正しく発音することができる。
・How, What などで始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
（適切な発話）
・相手の目を見て話すことができる。
・大きな声ではっきりと発話することができる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・天気予報に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞などを使って質問することを知っている。
・天気予報を言う場合には、主に未来形を用いることを知っている。
（文化についての理解）
・教科書 p . 35 に掲載されているごとく、イギリス人やアメリカ人も日本人と同じようによく天気のあいさつから会話を始めることを知っている。

④口頭で発表すること
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。
（コミュニケーションの継続）
・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。
●表現の能力
（正確な発表）
・このレッスンで学習した天気・気候の表現を用いて、指定された場所と日にちの天気や気候たずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。
（適切な発表）
・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・ 普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
・ 天気とその予報、気候の表現を知っている。
・自己紹介、クラスメートの紹介をするときの表現を理解している。
（文化についての理解）
・イギリス人やアメリカ人も日本人と同じようによく天気のあいさつから会話を始めることを知っている。

Lesson 6 TV Programs

①聞くこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・好きなテレビ番組に関して積極的に相手から情報を得ようとする意欲を示している。
・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。

（コミュニケーションの継続）

・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

（正確な聞き取り）

・好きな事柄をたずねたり答えたりする表現、Do you like～?, What kind of～do you like?, Who is your favorite～?, I like～.を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。

（適切な聞き取り）

・好きかどうかをたずねる表現を聞いて、キーワード（Do you like～?）を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・Do you～?で始まる疑問文は、文尾を上げたイントネーションで発話することを知っている。

（文化についての理解）

・ユーモアが緊張をほぐす場面でよく使われることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・好きな番組について自分の情報を相手に伝えようとする意思を示している。
・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p.43 の SPEAKING 活動や p.44 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・疑問詞で始まる疑問文と Do you～?で始まる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けることができる。
・好きなもの（こと、人）について、正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

（適切な対話）

・相手の好きなもの（こと、人）に積極的に関心を示し、対話を継続することができる。
・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

●理解の能力

（正確な対話）

・好きな事柄の対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話された好きな事柄に関する質問や応答表現を正しく理解することができる。
・聞かれたことに対して、素早く適切に自分の好きなもの（こと、人）を相手に知らせることができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・好きなもの（こと、人）についての対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。

（文化についての理解）

・教科書 p. 42 に掲載されているように、対話の中で緊張をほぐすためにユーモアが大切であることを理解している。

③話すこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・教科書 p.43 の SPEAKING 活動や p.44 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

（コミュニケーションの継続）

・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発話）

・Do you～?で始まる文の最後のイントネーションは上げて発話することができる。

（適切な発話）

・相手の目を見て話すことができる。
・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・Do you like watching TV?のように動詞に-ing をつけると名詞の働きになり、主語や目的語として使えることを知理解している。

（文化についての理解）

・発話の際には、緊張をほぐすためにユーモアを入れることが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。

（コミュニケーションの継続）

・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャー用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発表）

・she(he) likes (watching)～または she(he) doesn't like (watching)～, her(his) favorite～の表現を用いて、クラスメートの好きなもの（こと、人）をクラス全員に知らせることができる。

（適切な発表）

・　クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。

・三人称単数現在形の場合は、動詞の原型に-(e)s をつける(likes など)ことを知っている。

（文化についての理解）

・自分や知り合いの好きなもの（こと、人）を紹介する場合は、謙遜ではなく、肯定的な情報を伝えるべきであることを理解している。

Lesson 7 Talking on a Cell Phone

①聞くこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・電話をかけ、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。

（コミュニケーションの継続）

・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。

●理解の能力

（正確な聞き取り）

・Can, Where, Will ~? などで始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。

（適切な聞き取り）

・Hi, という表現を聞いて、適切に反応することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・電話の表現で、強く発音するところやイントネーションを知っている。。

（文化についての理解）

・携帯電話を使うときは、マナーが重要であることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・電話に関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。

・教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p.52 の SPEAKING 活動や p.53 の ROLE PLAY 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・Have you read my email?という疑問文と、Yes, I have.の表現で、強く発音するところやイントネーションを正しく発音することができる。

（適切な対話）

・自分の状態によって、miss a good scene や cooking dinner など話せない理由を示す表現を使い分けたり、call you back、call me again、email you later などの今後の行動を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な電話の応対をすることができる。

・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる

●理解の能力、

（正確な対話）

・携帯電話での対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話された電話での会話表現が正しく理解できる。

・聞かれたことに対して、素早く適切に必要なことを相手に知らせることができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

携帯電話での対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。

・「既に～した」などの表現には完了形を用いることを知っている。
③話すこと
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・教科書 p. 52 の SPEAKING 活動や p. 53 の ROLE PLAY 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。
（コミュニケーションの継続）
・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。
●表現の能力
（正確な発話）
・Hi, という表現を使って、適切に話すことができる。
・Can I ~?を使った相手がいま話せるかたずねる表現を使うことができる。
（適切な発話）
・大きな声ではっきりと発話することができる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・電話の表現で、強く発音するところやイントネーションを知っている。
（文化についての理解）
・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。
（コミュニケーションの継続）
・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。
●表現の能力
（正確な発表）
・このレッスンで学習した携帯電話の表現を用いて、相手が話せるかどうかや、待ち合わせに間に合うか、e メールを読んだかのたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。
（適切な発表）
・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解
（言語についての知識）
・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
（文化についての理解）
・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

Lesson 8 Telling the Way

①聞くこと

●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・道をたずね、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。
（コミュニケーションの継続）
・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力
（正確な聞き取り）
・Where、Could などで始まる疑問文や命令文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
（適切な聞き取り）
・Excuse me.という表現を聞いて、適切に反応することができる。
・Where を使った、道をたずねる表現を聞いて、相手が行きたいところの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解
（言語についての知識）
・道案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを知っている。
・知らない人に話しかけるときの Excuse me.という表現を知っている。
（文化についての理解）
・ていねいに話しかけるとき Excuse me.と言うことを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・道順などに関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。

・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p.58 の SPEAKING 活動や pp.59~60 の PAIR WORK 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・Could you tell me the way to ~?の疑問文と、Go で始まる命令文を用いた道案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。

（適切な対話）

・行く先の道によって、go straight や turn、cross the bridge などの道案内の表現を使い分けたり、on your left、next to~、on the corner of ~などの位置を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な道案内をすることができる。

●理解の能力

（正確な対話）

・道案内での対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話された道案内での質問や道を教える表現が正しく理解できる。

・きかれたことに対して、素早く適切に自分のことを相手に知らせることができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・道案内での対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。

（文化についての理解）

・教科書 p. 57 に掲載されているように、アメリカなどの大都市の block のことを知っている。

・知らない人には、Excuse me.から始めて、Could you ~?とていねいにたずねることを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・教科書 p.58 の SPEAKING 活動や pp.59~60 の PAIR WORK 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

（コミュニケーションの継続）

・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発話）

・Could you tell me the way to ~?の疑問文と、Go で始まる命令文を用いた道案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。

（適切な発話）

・相手の目を見て話すことができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・道順に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞などを使って質問することを知っている。

（文化についての理解）

・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。

・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。

（コミュニケーションの継続）

・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発表）

・このレッスンで学習した道案内の表現を用いて、指定された場所への行き方のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。

（適切な発表）

・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。

（文化についての理解）

③話すこと　と同じ

Lesson 9 Kyoto

①聞くこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・京都の名所への行き方をたずね、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。

・知らない相手に Excuse me.とていねいに話をしようとしている。

（コミュニケーションの継続）

・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。

●理解の能力

（正確な聞き取り）

・How, Where, などで始まる疑問文や命令文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。

（適切な聞き取り）

・Excuse me.という表現を聞いて、適切に反応することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・行き方の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを知っている。

・知らない人に話しかけるときの Excuse me.という表現を知っている。

（文化についての理解）

・ていねいに話しかけるとき Excuse me.と言うことを知っている。

・道をきかれてわからない場合の答え方を知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・京都の名所に関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。

・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p.67 の SPEAKING 活動や p.68~71 の PAIR WORK 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・How many stops is it from ~?の疑問文と、Get off ~. で始まる命令文を用いた名所までの乗り物案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。

（適切な対話）

・行く先によって、take the subway ~ Line.や change to ~, change at ~ station.のように、交通機関の利用や乗り換えなどの乗り物案内の表現を使い分けたり、get off at ~ , It takes about ~. などの下車駅や乗車時間を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な名所への乗り物案内をすることができる。

●理解の能力

（正確な対話）

・初対面での対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話された初対面での質問や乗り物案内の表現が正しく理解できる。

・きかれたことに対して、素早く適切に必要な情報を相手に知らせることができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・乗り物案内での対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。

（文化についての理解）

・教科書 p. 66 に掲載されているように、道を聞かれても分からない場合、I'm a stranger here myself.の好ましい答え方を知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・教科書 p. 67 の SPEAKING 活動や pp. 68~71 の PAIR WORK 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

（コミュニケーションの継続）

・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発話）

・How many stops is it from ~?の疑問文と、Get off ~.で始まる命令文を用いた名所までの乗り物案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
・Excuse me.と知らない人にていねいに話しかける表現を使うことができる。

（適切な発話）
・相手の目を見て話すことができる。
・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）
・乗り物に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞などを使って質問することを知っている。

（文化についての理解）
・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）
・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。

（コミュニケーションの継続）
・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発表）
・このレッスンで学習した乗り物案内の表現を用いて、指定された場所への行き方のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。

（適切な発表）
・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

（言語についての知識）
・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。

（文化についての理解）
・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。

Lesson 10 Shopping

①聞くこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）
・買い物をするとき、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。

（コミュニケーションの継続）
・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。

●理解の能力

（正確な聞き取り）
・May, What, How などで始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。

（適切な聞き取り）
・May I help you? という表現を聞いて、適切に反応することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）
・買い物の表現で、強く発音するところ、イントネーションに注意するところを知っている。
・客に最初に挨拶する表現を知っている。

（文化についての理解）
・海外で買い物をするとき地域や場所によっては店員と交渉しながら値段を決める場合があることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）
・買い物などに関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
・教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

（コミュニケーションの継続）
・教科書 p. 76 の SPEAKING 活動や p.77~78 のロールプレイ活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）
・May I help you? Yes, I’m looking ~.の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。

（適切な対話）
・買い物では、looking for ~ の表現を使って欲しい品物を求めたり、medium, blue, a hundred dollars と言ってサイズ、色、予算の表現を使い分けたり、値段が高くて気に入らない場合には、It’s too expensive. Please show me another one.のように別な商品の提示を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な買い物をすることができる。
・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。

●理解の能力
（正確な対話）
・買い物の対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。
（適切な対話）
・自然な口調で話された買い物の表現が正しく理解できる。
・きかれたことに対して、素早く適切に自分のことを相手に知らせることができる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・買い物での対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。
（文化についての理解）
・海外で買い物をするとき地域や場所によっては店員と交渉しながら値段を決める場合があることを知っている。

③話すこと
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・教科書 p. 76 の SPEAKING 活動や pp. 77~78 の ROLE PLAY 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。
（コミュニケーションの継続）
・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。
●表現の能力
（正確な発話）
・May I help you?　の疑問文と、Yes, I’m looking for ~.の買い物の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
（適切な発話）
・相手の目を見て話すことができる。
・大きな声ではっきりと発話することができる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・買い物に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞などを使って質問することを知っている。
・May I help you? が客に最初に挨拶する表現であることを知っている。
（文化についての理解）
海外で買い物をするとき、地域や場所によっては店員と交渉しながら値段を決める場合があることを知っている。

④口頭で発表すること
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。
（コミュニケーションの継続）
・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャー用いて発表を継続する工夫をしている。
●表現の能力
（正確な発表）
・このレッスンで学習した買い物の表現を用いて、買い物のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。
（適切な発表）
・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
・自己紹介、クラスメートの紹介をするときの表現を理解している。
（文化についての理解）
海外で買い物をするとき、地域や場所によっては店員と交渉しながら値段を決める場合があることを知っている。

Lesson 11 Restaurant

①聞くこと
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・食事の注文を受けるためにたずね、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。
（コミュニケーションの継続）
・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。

・聞かれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

（正確な聞き取り）

・May, Would, Anything などで始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。

・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。

（適切な聞き取り）

・May I take your order?という注文を受ける表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。

・I'll have ~.を使った注文の品を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる

・Would you like something to drink?を使った飲み物をたずねる表現を聞いて、相手が飲みたい物の名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・May I take your order?がレストランで客から料理の注文を取る表現であることを知っている。

・I'll have ~.がレストランで料理を注文する表現であることを知っている。

・Would you like something to drink?がレストランで客から飲み物の注文の取り方を知っている。

（文化についての理解）

・欧米のレストランやホテルでは、サービスを受けたときチップを渡す習慣があることを知っている。

・レストランでのチップは、合計金額の 10～20%が目安であることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・食事の注文などに関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。

・教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p. 83 の SPEAKING 活動や p. 84 の ROLE PLAY 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・Would you like something to drink?の疑問文と、Yes, I'd like a cup of tea.の答えの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。

・初めて会う人などに、あるところへの行き方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

（適切な対話）

・注文によって、Yes. I'll have a ~ .、や Yes, I'd like a ~.などの注文依頼の表現を使い分けたり、No, that's all. など注文を断る表現を使ったりするなど、場面によって適切な対話をすることができる。

●理解の能力

（正確な対話）

・注文の対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話されたレストランでの食事の質問が正しく理解できる。

・きかれたことに対して、素早く適切に自分のことを相手に知らせることができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・食事の注文の対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。

（文化についての理解）

・教科書 p. 82 に掲載されているように、欧米のレストランやホテルでは、サービスを受けたときチップを渡す習慣があることを知っている。

・レストランでのチップは、合計金額の 10～20%が目安であることを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・教科書 p. 83 の SPEAKING 活動や p. 84 の ROLE PLAY 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p. 83 の SPEAKING 活動や p. 84 の ROLE PLAY 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・Would you like something to drink?の疑問文と、Yes, I'd like a cup of tea.の答えの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。

・May I take your order?という注文を受ける表現を適切に使うことができる。

（適切な発話）

・相手の目を見て話すことができる。

・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）
・注文に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞などを使って質問することを知っている。
・to drink が不定詞の形容詞的用法(to ＋動詞の原型)であることを知っている。
（文化についての理解）
・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。
・教科書 p. 84 の活動を充分に練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
・道案内を、正しくわかりやすく伝えようとしている。
（コミュニケーションの継続）
・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャー用いて発表を継続する工夫をしている。
●表現の能力
（正確な発表）
・このレッスンで学習した注文の表現を用いて、指定された料理、飲み物、デザートの注文のしかた、答え方をクラス全員に示すことができる。
（適切な発表）
・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
・自己紹介、クラスメートの紹介をするときの表現を理解している。
（文化についての理解）
・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

Lesson 12 Making a Plan
①聞くこと
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・ 相手と何かをする約束を交わして都合のよい日時をたずね、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。
（コミュニケーションの継続）
・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。
●理解の能力
（正確な聞き取り）
・Let’s ~., Are~?, How ~?, When and where ~?などで始まる命令文や疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
・LISTENING で使用されている約束の表現をきいて内容を正しく理解できる。
Challenge!!（オプション）の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。
（適切な聞き取り）
・Let’s ~. を使った、一緒に何かをしようとたずねる表現を聞いて、相手がしたいことを聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
・Sounds ~. を使った同意の回答を聞いて、内容を適切に理解することができる。
●知識・理解
（言語についての知識）
・待ち合わせの約束の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを知っている。
・一緒に何かをしようとたずねる表現を知っている。
・同意の表現を知っている。
・あいている日にちをたずねる表現を知っている。
（文化についての理解）
・都合が悪いとき、相手の予定を大切にする欧米人に対して、率直に「都合が悪い」と断っても構わないことを知っている。

②対話すること
●関心・意欲・態度
（言語活動への取組）
・約束の取り決めに関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
・教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。
（コミュニケーションの継続）
・教科書 p. 92 の SPEAKING 活動や p. 93 の PAIR WORK 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができな

いときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・When and where shall we meet? の疑問文と、Let's ~.で始まる命令文を用いた約束の取り決めの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。

（適切な対話）

・Let's ~. を使って待ち合わせ場所と時間を取り決めることができる。

●理解の能力

（正確な対話）

・約束の対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話された電話の応対の質問や自己紹介の表現が正しく理解できる。

・聞かれたことに対して、素早く適切に自分の都合を相手に知らせることができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・約束のとりきめでの対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。

（文化についての理解）

・日本人は誘いを断る際、必要以上に言い訳をするが、欧米人たちは率直に断ることを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・教科書 p. 92 の SPEAKING 活動や p. 93 の PAIR WORK 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

（コミュニケーションの継続）

・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発話）

・When and where shall we meet?の疑問文と、Let's ~.で始まる命令文を用いた約束の取り決めの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。

（適切な対話）

・Let's ~.を使って待ち合わせ場所と時間を取り決めることができる。
・Sounds ~. を使って同意の回答をすることができる。
・Are ~?を使って、あいている日にちをたずねることができる。

（適切な発話）

・相手の目を見て話すことができる。

・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・約束のとりきめの対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。

・Let's ~.が人を誘うときの表現であることを知っている。

・shall (shall we~ ?)が相手の気持ちを聞くときの表現であることを知っている。

（文化についての理解）

・　日本人は誘いを断る際、必要以上に言い訳をするが、欧米人たちは率直に断ることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。

・教科書 p. 93 の活動を充分に練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。

（コミュニケーションの継続）

・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発表）

・このレッスンで学習した約束の表現を用いて、あいている日、待ち合わせの場所と時間のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。

（適切な発表）

・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。

Lesson 13 Future Jobs

①聞くこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・将来なりたい職業や、その理由、実現のためにすることに関して積極的に相手から情報を得ようとする意欲を示している。
・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。

（コミュニケーションの継続）

・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
・聞かれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

（正確な聞き取り）

・将来なりたい職業をたずねたり答えたりする表現、What do you want to be ~?, I want to be ~.を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
・理由をたずねたり答えたりする表現、Why?, Because ~.を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。

（適切な聞き取り）

・なりたい職業をたずねる表現を聞いて、キーワード（What do you want to be ~?）を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・Why で始まる疑問文は、文尾を下げたイントネーションで発話することを知っている。
・何をしたいかをたずね、答える表現を知っている。

（文化についての理解）

・さまざまな職業の呼び方を、ある程度は知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・なりたい職業やその理由について自分の情報を相手に伝えようとする意思を示している。
・教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

（コミュニケーションの継続）

・教科書 p. 98 の SPEAKING 活動や p. 99 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

（正確な対話）

・疑問詞で始まる疑問文を、正しいイントネーションで言うことができる。
・なりたい職業やその理由などを正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

（適切な対話）

・なりたい職業やその理由について積極的に関心を示し、対話を継続することができる。
・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

●理解の能力

（正確な対話）

・なりたい職業、実現の手段の対話表現（Key Expressions）を正確に理解している。

（適切な対話）

・自然な口調で話された、なりたい職業などに関する質問や応答表現を正しく理解することができる。
・きかれたことに対して、素早く適切になりたい職業やその理由、実現手段を相手に知らせることができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・なりたい職業やその理由、実現の手段についての対話表現（Key Expressions）に関する文法（POINTS）とイントネーション（SOUNDS）を正確に理解している。

（文化についての理解）

・教科書 p. 97 に掲載されているように、若者の志望する職業の国などによる違いを理解している。

③話すこと

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・教科書 p. 98 の SPEAKING 活動や p. 99 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

（コミュニケーションの継続）

・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発話）

・What do you ~?で始まる文の最後のイントネーションは下げて発話することができる。
・What do you want to be ~?を使って相手のなりたい職業をたずねることができる。

（適切な発話）

・相手の目を見て話すことができる。

・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・want to be のように to+動詞の原形が名詞のような働きになり、主語や目的語として使えることを理解している。

（文化についての理解）

・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

（言語活動への取組）

・間違うことを恐れず積極的に人前で発表している。
・教科書 p. 99 の発表原稿を何度も練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
・インタビューしたクラスメートのなりたい職業などを肯定的に伝えようとしている。

（コミュニケーションの継続）

・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャー用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

（正確な発表）

・she/he wants to be ~.や because ~.,she/he is planning to ~の表現を用いて、クラスメートのなりたい職業やそのためにすることをクラス全員に知らせることができる。
・教科書 p. 100 の Challenge!!（オプション）で、なりたい職業などのスキットを KEY EXPRESSIONS や教科書の参考表現を使って作ることができる。
・教科書 p. 100 の Challenge!!（オプション）で、作った原稿をできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。

（適切な発表）

・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●理解の能力

・Challenge!!で、教科書に掲載されている表現を理解することができる。

●知識・理解

（言語についての知識）

・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
・三人称単数現在形の場合は、動詞の原型に-(e)s をつける(wants など)ことを知っている。
・仮定法の表現や、教科書 p. 95 紹介されている理由を言う表現を知っている。

（文化についての理解）

・教科書 p. 97 に掲載されているように、若者の志望する職業の国などによる違いを理解している。

令和5年度　高等部　3年(Ⅰ課程)　英語表現　年間指導計画

単位数/配当時数　2/70　　教科書/副教材等　SELECT English Expression I New Edition　　担当者名

課	タイトル	主な言語材料	指導上の留意点	配当時間
Let's Start		アルファベット／品詞／語順	・アルファベットの文字を正しく書いたり，発音できているか確認する。 ・品詞について意識させる。 ・英文の語順の大切さを認識させる。	3
Lesson 1	自己紹介 ―あいさつ	現在形：be動詞／一般動詞	・自己紹介の仕方や挨拶の違いなど、文化や習慣の違いを認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、「自分の趣味や興味」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Lesson 2	宇宙で食事 ―世界の食文化	過去形：be動詞／一般動詞	・伝統料理から宇宙食まで、様々な食文化があることを認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、「先週末にしたこと」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Lesson 3	世界へ羽ばたけ！ ―スポーツ	進行形：現在進行形／過去進行形	・スポーツの種類やスポーツ選手について認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、「昨日の夜8時にしていたこと」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Lesson 4	エーゲ海の島へ ―旅行	未来表現：will／be going to	・旅行先として有名な各国の名所等について認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、「今年の夏にする予定のこと」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Gトレプラス 1	Lesson 1～4	現在形，過去形，進行形，未来表現	・1～4課までの文法・語法の定着を図る。	1
つなぎ言葉	第1回	and	・接続詞の活用が表現力向上につながることを認識させる。	2
Speaking Station 1	史上最大の発明は？ The Greatest Invention		・世界の発明品の名称を認識させ、暮らしとの関わりを考えさせる。 ・発表に必要な表現、およびスピーチの流れを理解させる。 ・テーマに沿って、自分の考えを発表することに慣れさせる。	2
Daily Conversation 1	「買い物」をする時の表現 Can I try it on?		・特有の場面で使用される日常会話表現に慣れさせる。 ・コミュニケーションを円滑にするための表現に気付かせる。	2
Lesson 5	アイドル ―芸能	現在完了形①：継続／経験	・アイドル、芸能について認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、「今までの経験、およびその回数」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Lesson 6	祭りだ！祭りだ！ ―日本文化	現在完了形②：完了／現在完了進行形	・日本文化を紹介することの面白さや重要性に気付かせる。 ・この課の言語材料を使用し、「過去のある地点から現在まで継続していること、その期間」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Lesson 7	未来のエネルギー ―環境	助動詞①：can／may	・環境やエネルギー問題について認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、「今週末の予定」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Lesson 8	世界平和のために ―国際社会	助動詞②：must／have to／should	・国際社会がかかえる問題について認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、「映画の誘いを断わらなければならない理由」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Gトレプラス 2	Lesson 5～8	現在完了形，助動詞	・5～8課までの文法・語法の定着を図る。	2
つなぎ言葉	第2回	that／but	・接続詞の活用が表現力向上につながることを認識させる。	2
Speaking Station 2	目指せプロフェッショナル! Job Search		・職業について考えさせる。 ・発表に必要な表現、およびスピーチの流れを理解させる。 ・テーマに沿って、自分の考えを発表することに慣れさせる。	3
Daily Conversation 2	「レストラン」での表現 I'll have it.		・特有の場面で使用される日常会話表現に慣れさせる。 ・コミュニケーションを円滑にするための表現に気付かせる。	2
Lesson 9	沖縄美ら海水族館 ―生き物	不定詞①：副詞的用法／名詞的用法	・様々な生き物について認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、「自分の夢やなりたい職業」について書いたり話したりする表現に親しませる。	3
Lesson 10	未来を切り拓く ―生き方	不定詞②：形容詞的用法／ It ～ (for ―) to ...	・様々な生き方を知ることで自分の生き方や社会との関わりを考えさせる。 ・この課の言語材料を使用し、「現在していること、および何のためにそれ	3
Lesson 11	はやぶさ2の挑戦 ―自然科学	動名詞	・自然科学の進歩と可能性について認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、「友達といつもしていること」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Lesson 12	不思議な絵 ―芸術	受動態	・様々な芸術について親しませる。 ・この課の言語材料を使用し、「芸術作品およびその作者」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Gトレプラス 3	Lesson 9～12	不定詞，動名詞，受動態	・9～12課までの文法・語法の定着を図る。	1
つなぎ言葉	第3回	or／as	・接続詞の活用が表現力向上につながることを認識させる。	1
Speaking Station 3	どこが違う？ Finding the Differences		・違いや位置関係の説明など、描写したり、表現することに慣れさせる。 ・発表に必要な表現、およびスピーチの流れを理解させる。 ・テーマに沿って、違いなどの事実関係を発表することに慣れさせる。	2
Daily Conversation 3	「道案内」の表現 Where is the bus stop?		・特有の場面で使用される日常会話表現に慣れさせる。 ・コミュニケーションを円滑にするための表現に気付かせる。	1
Lesson 13	ヒエログリフ ―外国語・ことば	分詞：現在分詞／過去分詞	・ことばに関心をもち、言語を学ぶ重要性やその面白さを認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、「過去に見た面白かったこと」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Lesson 14	私たちの街にガォー ―ご当地	関係代名詞①：that／who／which	・ご当地の意味を認識させ、地域への関心を高める。 ・この課の言語材料を使用し、「友達の特徴(得意なことなど)」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Lesson 15	書道甲子園 ―活躍する高校生	関係代名詞②：what 関係副詞：where／when／why	・高校生と社会とのつながりについて考えさせる。 ・この課の言語材料を使用し、「忘れられない出来事」について書いたり話したりする表現に親しませる。	3
Lesson 16	どれが一番？ ―地理	比較：比較級／最上級／as ... as ～	・世界の地理について認識させる。 ・この課の言語材料を使用し、(何かと何かを比べて)自分の好きな方を選んで書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Gトレプラス 4	Lesson 13～16	分詞，関係代名詞，関係副詞，比較	・13～16課までの文法・語法の定着を図る。	1
つなぎ言葉	第4回	if ／than	・接続詞の活用が表現力向上につながることを認識させる。	1
Speaking Station 4	日本文化をPR！ Show & Tell		・海外に紹介したい日本文化について考えさせる。 ・発表に必要な表現、およびスピーチの流れを理解させる。 ・テーマに沿って、自分の考えを発表することに慣れさせる。	2
Lesson 17	限りある水 ―国際協力	知覚動詞／使役動詞	・国際協力に関わる活動を認識させ、意識を高める。 ・この課の言語材料を使用し、「昨日見た(聞いた)こと」について書いたり話したりする表現に親しませる。	3
Lesson 18	ピサの斜塔 ―世界遺産	仮定法過去：if ～／I wish ～	・世界遺産に親しませる。 ・この課の言語材料を使用し、「タイムマシンがあれば(過去・未来で)してみたいこと」について書いたり話したりする表現に親しませる。	2
Gトレプラス 5	Lesson 17, 18	知覚動詞，使役動詞，仮定法過去	・17,18課までの文法・語法の定着を図る。	1
つなぎ言葉	第5回	when／because／so	・接続詞の活用が表現力向上につながることを認識させる。	1
Speaking Station 5	結婚するなら?! The Ideal Person		・結婚をテーマに様々な価値観について考えさせる。 ・発表に必要な表現、およびスピーチの流れを理解させる。 ・テーマに沿って、相手の意見と比較して考えを述べることに慣れさせる。	3
文法のまとめ				
【付録】1.表現語彙集　2.変化形のつくり方　3.いろいろな疑問詞　4.辞書の使い方　5.ローマ字表　6.Emailの書き方　7.単位と数の表現　8.句読法　9.不規則動詞活用表				70

SELECT English Expression I New Edition　観点別評価規準

Let's Start 1 アルファベット（pp.6-7）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・書写やゲームを通して、英語の綴りを正確に理解し、基本的な英単語に慣れ親しむことができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・学んだアルファベットや単語を積極的に運用し、発話しようとすることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・正しい発音を意識して、アルファベットや基本的な単語を言うことができる。
	書くこと	・アルファベットの大文字と小文字を正しく丁寧に書くことができる。 ・基本的な単語をブロック体で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・アルファベットや基本的な単語を正確に聞きとることができる。
	読むこと	・アルファベットや基本的な単語を読むことができる。
言語や文化についての知識・理解		【言語についての知識】 ・身の周りにある基本的なものの名前や英語の文字の書き方を理解している。 【文化についての知識】 ・アルファベットは今後の英語学習の基礎となることを理解している。

Let's Start 2 品詞（pp.8-11）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・解説や設問を通してそれぞれの品詞を理解しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・正しい品詞の理解と運用を通して積極的に発話しようとすることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・品詞の種類やそれぞれの役割を理解して、基本的な英語を話すことができる。
	書くこと	・品詞の種類やそれぞれの役割を理解して、基本的な英文を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・品詞の種類やそれぞれの役割を理解して、基本的な英文を聞きとることができる。
	読むこと	・品詞の種類やそれぞれの役割を理解して、基本的な英文を読むことができる。
言語や文化についての知識・理解		【言語についての知識】 ・品詞の種類、それぞれの役割や正しい使い方を理解している。 【文化についての知識】 ・正確な品詞の使用は、より良いコミュニケーションの基本であることを理解している。

Let's Start 3 語順（pp.12-13）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・解説や設問を通して英語の語順を理解しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・正しい英語の語順を理解し、積極的に発話しようとすることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・英語の語順の法則を理解して、基本的な英語を話すことができる。
	書くこと	・英語の語順の法則を理解して、基本的な英文を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・英語の語順の法則を理解して、基本的な英文を聞きとることができる。
	読むこと	・英語の語順の法則を理解して、基本的な英文を読むことができる。
言語や文化についての知識・理解		【言語についての知識】 ・英語の語順の法則や正しい使い方を理解している。 【文化についての知識】 ・英語の語順を理解することは、より良いコミュニケーションの基本であることを理解している。

Lesson 1
自己紹介―あいさつ　【現在形：be 動詞／一般動詞】（pp.14-15）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・be 動詞および一般動詞の「現在形」についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。

外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「自分の趣味や興味があること」について話すことができる。 ・be 動詞および一般動詞の「現在形」を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「自分の趣味や興味があること」について書くことができる。 ・be 動詞および一般動詞の「現在形」を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・be 動詞および一般動詞の「現在形」を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・be 動詞および一般動詞の「現在形」を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・be 動詞および一般動詞の「現在形」の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・英語での自己紹介の仕方、挨拶の違いなど、世界に様々な文化、習慣があることを理解している。

Lesson 2
宇宙で食事―世界の食文化　【過去形：be 動詞／一般動詞】（pp.16-17）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・be 動詞および一般動詞の「過去形」についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「先週末にしたこと」について話すことができる。 ・be 動詞および一般動詞の「過去形」を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「先週末にしたこと」について書くことができる。 ・be 動詞および一般動詞の「過去形」を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・be 動詞および一般動詞の「過去形」を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・be 動詞および一般動詞の「過去形」を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・be 動詞および一般動詞の「過去形」の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・伝統料理から最先端の宇宙食まで、世界に様々な食文化があることを理解している。

Lesson 3
世界へ羽ばたけ！―スポーツ　【進行形：現在進行形／過去進行形】（pp.18-19）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「現在進行形」および「過去進行形」についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「昨日の夜８時にしていたこと」について話すことができる。 ・「現在進行形」および「過去進行形」を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「昨日の夜８時にしていたこと」について書くことができる。 ・「現在進行形」および「過去進行形」を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「現在進行形」および「過去進行形」を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「現在進行形」および「過去進行形」を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「現在進行形」および「過去進行形」の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・主なスポーツの種類や世界で活躍するスポーツ選手について理解している。

Lesson 4
エーゲ海の島へ―旅行　【未来表現：will／be going to】（pp.20-21）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「未来表現」についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「今年の夏にする予定のこと」について話すことができる。 ・「未来表現」を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「今年の夏にする予定のこと」について書くことができる。 ・「未来表現」を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「未来表現」を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「未来表現」を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「未来表現」の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・旅行先として有名な世界の名所等について理解している。

G トレプラス 1　LESSON ①～④（p.22）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・1～4 課で学んだ知識（現在形，過去形，進行形，未来表現の用法や表現）を活かし、さらに理解しようと努力することができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・わからないことや表現できないことに対し、復習したり、質問したり、調べたり、積極的に継続的な学習を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・現在形，過去形，進行形，未来表現の基本的な用法や表現に留意して、正しく発話することができる。
	書くこと	・現在形，過去形，進行形，未来表現の基本的な用法や表現に留意して、適切な英語を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・現在形，過去形，進行形，未来表現の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、聞きとることができる。
	読むこと	・現在形，過去形，進行形，未来表現の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・現在形，過去形，進行形，未来表現の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・英文の場面や背景を理解している。

つなぎ言葉ランキング　第 1 回（p.23）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・つなぎ言葉（and）の役割や働きを理解し、より豊かな表現活動へ結びつけることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・わからないことや表現できないことに対し、復習したり、質問したり、調べたり、積極的に継続的な学習を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・つなぎ言葉（and）の基本的な用法や表現に留意して、正しく発話することができる。
	書くこと	・つなぎ言葉（and）の基本的な用法や表現に留意して、適切な英文を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・つなぎ言葉（and）の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、聞きとることができる。
	読むこと	・つなぎ言葉（and）の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、読みとることができる。

言語や文化についての 知識・理解	【言語についての知識】 ・つなぎ言葉（and）の役割や働きについて理解している。 【文化についての知識】 ・英文の場面や背景を理解している。

Speaking Station 1
史上最大の発明は？―The Greatest Invention　【発表の始め／理由を述べる】(pp.24-25)

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・発表をする時の表現について理解を深め、「書く」「話す」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・ペアワーク・グループワークなどで、積極的に自分の考えや意見を述べることができる。 ・聴衆の前で意欲的に発表することができる。
外国語表現の能力	話すこと	・史上最大の発明品と、史上最大と思う理由について、話すことができる。 ・発表に必要な表現（発表の始め、理由を述べる）を用い、スピーチの流れに沿って発表することができる。 ・聞いている人にきちんと伝わることを意識して、適切な音量やスピードで話すことができる。 ・アクセント（強勢）に注意して話すことができる。
	書くこと	・史上最大の発明品と、史上最大と思う理由について、書くことができる。 ・発表に必要な表現（発表の始め、理由を述べる）を用い、スピーチ原稿を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・発明品について話された英文を聞き、内容を正しく理解することができる。 ・人が話す英語を集中して聞くことができる。
	読むこと	・発明品について書かれた英文を読んで、その情報を正しく理解することができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・発表に必要な表現（発表の始め、理由を述べる）を理解している。 ・スピーチの流れを理解している。 【文化についての知識】 ・世界の発明品の名称や使い方、その歴史、人々の暮らしとの関わりなどについて理解している。

Daily Conversation 1
「買い物」をするときの表現　Can I try it on?（pp.26-27）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・買い物をするときに必要な表現について理解を深め、積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・買い物をするときに必要な表現を場面に応じて使い分け、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・買い物をするときの表現を場面に応じて適切に用いて、話すことができる。 ・ペアワーク・グループワークで、学習した表現を場面に応じて使い分けることができる。
	書くこと	・買い物をするときの表現を場面に応じて適切に用いて、書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・買い物をするときの表現を聞き、内容を正しく理解することができる。
	読むこと	・買い物に関連する情報を読みとり、内容を正しく理解することができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・買い物をするときの表現を理解している。 【文化についての知識】 ・買い物の仕方の違い、買い物をするときの表現を場面に応じて理解している。

Lesson 5
アイドル―芸能　【現在完了形①：継続／経験】(pp.28-29)

観　点	評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	【言語活動への取り組み】 ・継続および経験を表す「現在完了形」についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。

外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「今までの経験、およびその回数」について話すことができる。 ・継続および経験を表す「現在完了形」を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「今までの経験、およびその回数」について書くことができる。 ・継続および経験を表す「現在完了形」を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・継続および経験を表す「現在完了形」を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・継続および経験を表す「現在完了形」を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・継続および経験を表す「現在完了形」の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・世界で活躍するアイドルなど、芸能について理解している。

Lesson 6
祭りだ！祭りだ！―日本文化　【現在完了形②：完了／現在完了進行形】（pp.30-31）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・完了を表す「現在完了形」および「現在完了進行形」についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「過去のある時点から現在まで継続していること、およびその期間」について話すことができる。 ・完了を表す「現在完了形」および「現在完了進行形」を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「過去のある時点から現在まで継続していること、およびその期間」について書くことができる。 ・完了を表す「現在完了形」および「現在完了進行形」を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・完了を表す「現在完了形」および「現在完了進行形」を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・完了を表す「現在完了形」および「現在完了進行形」を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・完了を表す「現在完了形」および「現在完了進行形」の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・伝統的なものから近代的なものまで、幅広く日本文化を知り、紹介することの面白さと重要性を理解している。

Lesson 7
未来のエネルギー―環境　【助動詞①：can／may】(pp.32-33)

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「助動詞」(can，may) についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「今週末の予定」について話すことができる。 ・「助動詞」(can，may) を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「今週末の予定」について書くことができる。 ・「助動詞」(can，may) を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「助動詞」(can，may) を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「助動詞」(can，may) を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・助動詞 (can，may) の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・環境に関する問題を知り、それらの解決策を見つけ、実行することの重要性を理解している。

Lesson 8
世界平和のために―国際社会　【助動詞②：must／have to／should】(pp.34-35)

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「助動詞」(must，have to，should) についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「映画の誘いを断わらなければならない理由」について話すことができる。 ・「助動詞」(must，have to，should) を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「映画の誘いを断わらなければならない理由」について書くことができる。 ・「助動詞」(must，have to，should) を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「助動詞」(must，have to，should) を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「助動詞」(must，have to，should) を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「助動詞」(must，have to，should) の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・国際社会に関する歴史、事象を知り、それらに対して自分の意見を持つことの重要性を理解している。

G トレプラス 2　LESSON ⑤～⑧（p.36）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・5～8 課で学んだ知識（現在完了形および助動詞の用法や表現）を活かし、さらに理解しようと努力することができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・わからないことや表現できないことに対し、復習したり、質問したり、調べたり、積極的に継続的な学習を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・現在完了形および助動詞の基本的な用法や表現に留意して、正しく発話することができる。
	書くこと	・現在完了形および助動詞の基本的な用法や表現に留意して、適切な英語を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・現在完了形および助動詞の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、聞きとることができる。
	読むこと	・現在完了形および助動詞の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		【言語についての知識】 ・現在完了形および助動詞の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・英文の場面や背景を理解している。

つなぎ言葉ランキング　第 2 回（p.37）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・つなぎ言葉（that, but）の役割や働きを理解し、より豊かな表現活動へ結びつけることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・わからないことや表現できないことに対し、復習したり、質問したり、調べたり、積極的に継続的な学習を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・つなぎ言葉（that, but）の基本的な用法や表現に留意して、正しく発話することができる。
	書くこと	・つなぎ言葉（that, but）の基本的な用法や表現に留意して、適切な英文を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・つなぎ言葉（that, but）の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、聞きとることができる。
	読むこと	・つなぎ言葉（that, but）の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		【言語についての知識】 ・つなぎ言葉（that, but）の役割や働きについて理解している。 【文化についての知識】 ・英文の場面や背景を理解している。

Speaking Station 2
目指せプロフェッショナル！―Job Search　【順序を述べる／お礼の言い方】（pp.38-39）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・発表をする時の表現について理解を深め、「書く」「話す」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・ペアワーク・グループワークなどで、積極的に自分の考えや意見を述べることができる。 ・聴衆の前で意欲的に発表することができる。
外国語表現の能力	話すこと	・自分がなりたい職業とその理由について、話すことができる。 ・発表に必要な表現（順序を述べる、お礼の言い方）を用い、スピーチの流れに沿って発表することができる。 ・聞いている人にきちんと伝わることを意識して、適切な音量やスピードで話すことができる。 ・アクセント（強勢）に注意して話すことができる。
	書くこと	・自分がなりたい職業とその理由について、書くことができる。 ・発表に必要な表現（順序を述べる、お礼の言い方）を用い、スピーチ原稿を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・職業について話された英文を聞き、内容を正しく理解することができる。 ・人が話す英語を集中して聞くことができる。
	読むこと	・英文で書かれた求人広告を読んで、その情報を正しく理解することができる。

言語や文化についての 知識・理解	【言語についての知識】 ・発表に必要な表現（順序を述べる、お礼の言い方）を理解している。 ・スピーチの流れを理解している。 【文化についての知識】 ・職業の一般的な内容、給料、勤務時間、必要条件などについて理解している。

Daily Conversation 2
「レストラン」での表現　I'll have it.（pp.40-41）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・レストランで食事をするときに必要な表現について理解を深め、積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・レストランで食事をするときに必要な表現を場面に応じて使い分け、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・レストランで食事をするときの表現を場面に応じて適切に用いて、話すことができる。 ・ペアワーク・グループワークで、学習した表現を場面に応じて使い分けることができる。
	書くこと	・レストランで食事をするときの表現を場面に応じて適切に用いて、書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・レストランで食事をするときの表現を聞き、内容を正しく理解することができる。
	読むこと	・レストランでの食事に関連する情報を読みとり、内容を正しく理解することができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・レストランで食事をするときの表現を理解している。 【文化についての知識】 ・レストランで食事をするときの表現を場面に応じて理解している。

Lesson 9
沖縄美ら海水族館―生き物　【不定詞①：副詞的用法／名詞的用法】（pp.42-43）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「不定詞」の副詞的用法および名詞的用法についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「自分の夢やなりたい職業」について話すことができる。 ・「不定詞」の副詞的用法および名詞的用法を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「自分の夢やなりたい職業」について書くことができる。 ・「不定詞」の副詞的用法および名詞的用法を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「不定詞」の副詞的用法および名詞的用法を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「不定詞」の副詞的用法および名詞的用法を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「不定詞」の副詞的用法および名詞的用法の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・様々な生物に関する情報を知り、それらのおかれている環境を知ることの重要性を理解している。

Lesson 10
未来を切り拓く―生き方　【不定詞②：形容詞的用法／It ～（for －）to …】（pp.44-45）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「不定詞」の形容詞的用法および〈It~(for－)to...〉についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「現在していること、および何のためにそれをする(必要がある)のか」について話すことができる。 ・「不定詞」の形容詞的用法および〈It~(for－)to...〉の用法を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。

	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「現在していること、および何のためにそれをする(必要がある)のか」について書くことができる。 ・「不定詞」の形容詞的用法および〈It~(for－)to…〉を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「不定詞」の形容詞的用法および〈It~(for－)to…〉を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「不定詞」の形容詞的用法および〈It~(for－)to…〉を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「不定詞」の形容詞的用法および〈It~(for－)to…〉の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・様々な生き方を学び、自分の生き方やそれを社会に活かすことの重要性を理解している。

Lesson 11
はやぶさ 2 の挑戦―自然科学　【動名詞】(pp.46-47)

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「動名詞」についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「友達といつもしていること」について話すことができる。 ・「動名詞」を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「友達といつもしていること」について書くことができる。 ・「動名詞」を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「動名詞」を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「動名詞」を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「動名詞」の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・様々な自然科学に関する事象とその可能性について理解している。

Lesson 12
不思議な絵―芸術　【受動態】(pp.48-49)

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「受動態」についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「芸術作品およびその作者」について話すことができる。 ・「受動態」を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「芸術作品およびその作者」について書くことができる。 ・「受動態」を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「受動態」を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「受動態」を用いて書かれた英文を読みとることができる。

言語や文化についての 知識・理解	【言語についての知識】 ・「受動態」の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・主な芸術作品に関する背景や事象を理解している。

G トレプラス 3　LESSON ⑨〜⑫（p.50）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・9〜12 課で学んだ知識（不定詞、動名詞、受動態の用法や表現）を活かし、さらに理解しようと努力することができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・わからないことや表現できないことに対し、復習したり、質問したり、調べたり、積極的に継続的な学習を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・不定詞、動名詞、受動態の基本的な用法や表現に留意して、正しく発話することができる。
	書くこと	・不定詞、動名詞、受動態の基本的な用法や表現に留意して、適切な英語を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・不定詞、動名詞、受動態の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、聞きとることができる。
	読むこと	・不定詞、動名詞、受動態の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・不定詞、動名詞、受動態の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・英文の場面や背景を理解している。

つなぎ言葉ランキング　第 3 回（p.51）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・つなぎ言葉（or, as）の役割や働きを理解し、より豊かな表現活動へ結びつけることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・わからないことや表現できないことに対し、復習したり、質問したり、調べたり、積極的に継続的な学習を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・つなぎ言葉（or, as）の基本的な用法や表現に留意して、正しく発話することができる。
	書くこと	・つなぎ言葉（or, as）の基本的な用法や表現に留意して、適切な英文を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・つなぎ言葉（or, as）の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、聞きとることができる。
	読むこと	・つなぎ言葉（or, as）の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・つなぎ言葉（or, as）の役割や働きについて理解している。 【文化についての知識】 ・英文の場面や背景を理解している。

Speaking Station 3
どこが違う？―Finding the Differences　【位置を表す／描写する】（pp.52-53）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・発表をする時の表現について理解を深め、「書く」「話す」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・ペアワーク・グループワークなどで、積極的に自分の考えや意見を述べることができる。 ・聴衆の前で意欲的に発表することができる。
外国語表現の能力	話すこと	・２枚の絵の相違点について、説明することができる。 ・発表に必要な表現（位置を表す、描写する）を用い、スピーチの流れに沿って発表することができる。 ・聞いている人にきちんと伝わることを意識して、適切な音量やスピードで話すことができる。 ・アクセントやイントネーションに注意して話すことができる。

	書くこと	・２枚の絵の相違点について、自分で探し、書くことができる。 ・発表に必要な表現（位置を表す、描写する）を用い、スピーチ原稿を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・2 枚の絵の相違点について話された英文を聞き、内容を正しく理解することができる。 ・人が話す英語を集中して聞くことができる。
	読むこと	・2 枚の絵の相違点（看板に書かれた情報）を理解し、正しく読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・発表に必要な表現（位置を表す、描写する）を理解している。 ・スピーチの流れを理解している。 【文化についての知識】 ・町並みを説明するために重要となる事象を理解している。

Daily Conversation 3
「道案内」の表現　Where is the bus stop?（pp.54-55）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・道案内をするときに必要な表現について理解を深め、積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・道案内をするときに必要な表現を場面に応じて使い分け、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・道案内をするときの表現を場面に応じて適切に用いて、話すことができる。 ・ペアワーク・グループワークで、学習した表現を場面に応じて使い分けることができる。
	書くこと	・道案内をするときの表現を場面に応じて適切に用いて、書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・道案内をするときの表現を聞き、内容を正しく理解することができる。
	読むこと	・道案内に関連する情報を読みとり、内容を正しく理解することができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・道案内をするときの表現を理解している。 【文化についての知識】 ・道案内をするときの違いや表現を場面に応じて理解している。

Lesson 13
ヒエログリフ―外国語・ことば　【分詞：現在分詞／過去分詞】（pp.56-57）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「現在分詞」および「過去分詞」についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「持っているものの中で、外国で作られたもの」について話すことができる。 ・「現在分詞」および「過去分詞」を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「持っているものの中で、外国で作られたもの」について書くことができる。 ・「現在分詞」および「過去分詞」を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「現在分詞」および「過去分詞」を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「現在分詞」および「過去分詞」を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「現在分詞」および「過去分詞」の基本的な用法や表現を理解している。 ・前置修飾と後置修飾の違いを理解している。 【文化についての知識】 ・外国語やことばに関して、様々な言語や方法があることを理解している。

Lesson 14
私たちの街にガォー―ご当地　【関係代名詞①：that／who／which】(pp.58-59)

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「関係代名詞」(that, who, which) についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「友だちの特長（得意なことなど)」について話すことができる。 ・「関係代名詞」(that, who, which) を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「友だちの特長（得意なことなど)」について書くことができる。 ・「関係代名詞」(that, who, which) を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「関係代名詞」(that, who, which) を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「関係代名詞」(that, who, which) を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「関係代名詞」(that, who, which) の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・地域が誇る人材、名所、特産品等、ご当地の役割や意味を理解している。

Lesson 15
書道甲子園―活躍する高校生　【関係代名詞②：what, 関係副詞：where／when／why】(pp.60-61)

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「関係代名詞」(what) および「関係副詞」(where, when, why) についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「忘れられない出来事があった日」について話すことができる。 ・「関係代名詞」(what) および「関係副詞」(where, when, why) を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「忘れられない出来事があった日」について書くことができる。 ・「関係代名詞」(what) および「関係副詞」(where, when, why) を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「関係代名詞」(what) および「関係副詞」(where, when, why) を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「関係代名詞」(what) および「関係副詞」(where, when, why) を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「関係代名詞」(what) および「関係副詞」(where, when, why) の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・高校生が活躍している場や高校生と社会とのつながりについて理解している。

Lesson 16
どれが一番？―地理　【比較：比較級／最上級／as … as ～】(pp.62-63)

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・「比較級」「最上級」および〈as … as ～〉についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。

外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「2つのものから自分の好きなものを選ぶ」ことについて話すことができる。 ・「比較級」「最上級」および〈as … as 〜〉を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「2つのものから自分の好きなものを選ぶ」ことについて書くことができる。 ・「比較級」「最上級」および〈as … as 〜〉を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「比較級」「最上級」および〈as … as 〜〉を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「比較級」「最上級」および〈as … as 〜〉を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「比較級」「最上級」および〈as … as 〜〉の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・建築物や山川など世界の地理に関する主な情報を理解している。

G トレプラス 4　LESSON ⑬〜⑯（p.64）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・13〜16 課で学んだ知識（分詞、関係代名詞、関係副詞、比較の用法や表現）を活かし、さらに理解しようと努力することができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・わからないことや表現できないことに対し、復習したり、質問したり、調べたり、積極的に継続的な学習を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・分詞、関係代名詞、関係副詞、比較の基本的な用法や表現に留意して、正しく発話することができる。
	書くこと	・分詞、関係代名詞、関係副詞、比較の基本的な用法や表現に留意して、適切な英語を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・分詞、関係代名詞、関係副詞、比較の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、聞きとることができる。
	読むこと	・分詞、関係代名詞、関係副詞、比較の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・分詞、関係代名詞、関係副詞、比較の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・英文の場面や背景を理解している。

つなぎ言葉ランキング　第 4 回（p.65）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・つなぎ言葉（if, than）の役割や働きを理解し、より豊かな表現活動へ結びつけることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・わからないことや表現できないことに対し、復習したり、質問したり、調べたり、積極的に継続的な学習を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・つなぎ言葉（if, than）の基本的な用法や表現に留意して、正しく発話することができる。
	書くこと	・つなぎ言葉（if, than）の基本的な用法や表現に留意して、適切な英文を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・つなぎ言葉（if, than）の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、聞きとることができる。
	読むこと	・つなぎ言葉（if, than）の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・つなぎ言葉（if, than）の役割や働きについて理解している。 【文化についての知識】 ・英文の場面や背景を理解している。

Speaking Station 4
日本文化を PR！―Show & Tell　【注意を引く／説明する】（pp.66-67）

<table>
<tr><th colspan="2">観　点</th><th>評価規準</th></tr>
<tr><td colspan="2">コミュニケーションへの
関心・意欲・態度</td><td>【言語活動への取り組み】
・発表をする時の表現について理解を深め、「書く」「話す」活動において積極的に運用しようとすることができる。
【より積極的なコミュニケーションへの態度】
・ペアワーク・グループワークなどで、積極的に自分の考えや意見を述べることができる。
・聴衆の前で意欲的に発表することができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語表現の能力</td><td>話すこと</td><td>・紹介したい日本文化の特徴について説明することができる。
・発表に必要な表現（注意を引く、説明する）を用い、スピーチの流れに沿って発表することができる。
・聞いている人にきちんと伝わることを意識して、適切な音量やスピードで話すことができる。
・アクセントやリエゾンに注意して話すことができる。</td></tr>
<tr><td>書くこと</td><td>・紹介したい日本文化の特徴について書くことができる。
・発表に必要な表現（注意を引く、説明する）を用い、スピーチ原稿を書くことができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語理解の能力</td><td>聞くこと</td><td>・日本文化について紹介された英文を聞き、内容を正しく理解することができる。
・人が話す英語を集中して聞くことができる。</td></tr>
<tr><td>読むこと</td><td>・日本文化について書かれた英文を正しく読みとることができる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語や文化についての
知識・理解</td><td>【言語についての知識】
・発表に必要な表現（注意を引く、説明する）を理解している。
・スピーチの流れを理解している。
【文化についての知識】
・日本の主な伝統文化や芸能について理解している。
・英語になった日本語があることを理解している。</td></tr>
</table>

Lesson 17
限りある水―国際協力　【知覚動詞／使役動詞】（pp.68-69）

<table>
<tr><th colspan="2">観　点</th><th>評価規準</th></tr>
<tr><td colspan="2">コミュニケーションへの
関心・意欲・態度</td><td>【言語活動への取り組み】
・「知覚動詞」および「使役動詞」についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。
【より積極的なコミュニケーションへの態度】
・間違いを恐れず表現しようとすることができる。
・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語表現の能力</td><td>話すこと</td><td>・この課の言語材料を使用し、「昨日見た[聞いた]こと」について話すことができる。
・「知覚動詞」および「使役動詞」を用いて、即興で話したり、対話したりして表現することができる。</td></tr>
<tr><td>書くこと</td><td>・この課の言語材料を使用し、「昨日見た[聞いた]こと」について書くことができる。
・「知覚動詞」および「使役動詞」を用いて、適切な表現で書くことができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語理解の能力</td><td>聞くこと</td><td>・「知覚動詞」および「使役動詞」を用いて話された英文を聞きとることができる。
・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。</td></tr>
<tr><td>読むこと</td><td>・「知覚動詞」および「使役動詞」を用いて書かれた英文を読みとることができる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語や文化についての
知識・理解</td><td>【言語についての知識】
・「知覚動詞」および「使役動詞」の基本的な用法や表現を理解している。
【文化についての知識】
・世界が共有する社会問題やそれに対する活動についての情報を理解している。</td></tr>
</table>

Lesson 18
ピサの斜塔―世界遺産　【仮定法過去：if ～／I wish ～】（pp.70-71）

観　点	評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	【言語活動への取り組み】 ・「仮定法過去」（if ～，I wish ～）についての理解を深め、「話す」「書く」「聞く」「読む」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 ・わからないことや表現できないことに対し、聞き返す、言い換える等、継続的な対話を図ることができる。

外国語表現の能力	話すこと	・この課の言語材料を使用し、「タイムマシンがあれば(過去・未来で)してみたいこと」について話すことができる。 ・「仮定法過去」（if ～，I wish ～）の用法を使って、即興で話したり、対話したりして表現することができる。
	書くこと	・この課の言語材料を使用し、「タイムマシンがあれば(過去・未来で)してみたいこと」について書くことができる。 ・「仮定法過去」（if ～，I wish ～）の用法を用いて、適切な表現で書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・「仮定法過去」（if ～，I wish ～）を用いて話された英文を聞きとることができる。 ・いくつかの英文を聞き、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。
	読むこと	・「仮定法過去」（if ～，I wish ～）を用いて書かれた英文を読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・「仮定法過去」（if ～，I wish ～）の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・主な世界遺産に関する情報を理解している。

G トレプラス 5　LESSON ⑰⑱（p.72）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・17～18 課で学んだ知識（知覚動詞、使役動詞、仮定法の用法や表現）を活かし、さらに理解しようと努力することができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・わからないことや表現できないことに対し、復習したり、質問したり、調べたり、積極的に継続的な学習を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・知覚動詞、使役動詞、仮定法の基本的な用法や表現に留意して、正しく発話することができる。
	書くこと	・知覚動詞、使役動詞、仮定法の基本的な用法や表現に留意して、適切な英語を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・知覚動詞、使役動詞、仮定法の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、聞きとることができる。
	読むこと	・知覚動詞、使役動詞、仮定法の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・知覚動詞、使役動詞、仮定法の基本的な用法や表現を理解している。 【文化についての知識】 ・英文の場面や背景を理解している。

つなぎ言葉ランキング　第 5 回（p.73）

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・つなぎ言葉（when, because, so）の役割や働きを理解し、より豊かな表現活動へ結びつけることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・わからないことや表現できないことに対し、復習したり、質問したり、調べたり、積極的に継続的な学習を図ることができる。
外国語表現の能力	話すこと	・つなぎ言葉（when, because, so）の基本的な用法や表現に留意して、正しく発話することができる。
	書くこと	・つなぎ言葉（when, because, so）の基本的な用法や表現に留意して、適切な英文を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・つなぎ言葉（when, because, so）の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、聞きとることができる。
	読むこと	・つなぎ言葉（when, because, so）の基本的な用法や表現に留意して、その英文の意味を正しく理解し、読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・つなぎ言葉（when, because, so）の役割や働きについて理解している。 【文化についての知識】 ・英文の場面や背景を理解している。

Speaking Station 5

結婚するなら?!—The Ideal Person　【自分の考えを述べる／結論を言う】(pp.74-75)

観　点		評価規準
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		【言語活動への取り組み】 ・発表をする時の表現について理解を深め、「書く」「話す」活動において積極的に運用しようとすることができる。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・ペアワーク・グループワークなどで、積極的に自分の考えや意見を述べることができる。 ・聴衆の前で意欲的に発表することができる。
外国語表現の能力	話すこと	・結婚の条件とその理由について話すことができる。 ・発表に必要な表現（自分の考えを述べる、結論を言う）を用い、スピーチの流れに沿って発表することができる。 ・聞いている人にきちんと伝わることを意識して、適切な音量やスピードで話すことができる。 ・アクセントや区切りに注意して話すことができる。
	書くこと	・結婚の条件とその理由について書くことができる。 ・発表に必要な表現（自分の考えを述べる、結論を言う）を用い、スピーチの原稿を書くことができる。
外国語理解の能力	聞くこと	・結婚の条件とその理由についての英文を聞き、内容を正しく理解することができる。 ・人が話す英語を集中して聞くことができる。
	読むこと	・結婚の条件とその理由についての英文を正しく読みとることができる。
言語や文化についての 知識・理解		【言語についての知識】 ・発表に必要な表現（自分の考えを述べる、結論を言う）を理解している。 ・スピーチの流れを理解している。 【文化についての知識】 ・結婚の条件を始めとする価値観は人によって異なることを理解している。

令和5年度 高等部3年 年間学習指導計画

教科	情報	科目	情報探求(学校設定科目)	単位数	2単位
教科書	情Ⅰ706 図説情報Ⅰ	担当者名		配当時数	70
副教材	図説情報Ⅰ学習ノート，事例でまなぶプログラミングの基礎，アルゴリズムドリル				
教科の目標	情報科は，他の教科などの学びとあわせて，このような変化する社会で子供達が生きていくための資質・能力を育むものでなければならない。情報科では，情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付け，実際に活用する力を養うとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養うことを目指している。				
科目の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2)様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3)情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。				

評価の観点	知識及び技能：(知技)	思考力・判断力・表現力など：(思表判)	主体的に学習に取り組む態度：(学態)
観点の趣旨	情報と情報技術についての知識と技能，情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに，情報社会と人との関わりについては，情報に関する法規や制度及びマナー，個人が果たす役割や責任などについて，情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え，複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに，問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して，法規や制度及びマーを守ろうとする態度，情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い，これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

学期	月	学習項目			学習内容や学習活動	評価の観点 知技	思表判	主態	主な評価規準(評価の材料など)	予定時数	ソフトウェアなど
1学期	4	1章 情報社会と問題解決	1 問題解決	1．問題解決の手順	・問題解決の意味を理解し，問題解決の流れについて学ぶ。	○			・問題や問題解決の意味，問題解決の基本的な手順について理解している。	4	Webブラウザ SNS
					・学校の食堂の活性化など具体的な例を元に，問題の明確化(問題の構成要素の把握，制約条件の整理など)について学ぶ。	○			・問題の明確化における「問題の発見」の把握の方法について理解している。		
						○			・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など，問題の明確化について理解している。		
				2. 情報の収集と整理	・情報収集のための手法(ブレーンストーミング，検索エンジンの利用，ファイールドワーク)について学ぶ。	○			・検索エンジンを利用し，さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けている。	4	Webブラウザ(検索エンジン)
							○		・適切な情報収集方法を選択し，幅広い観点から情報を収集できる。		
								○	・問題解決のためのグループでの取り組み(ブレーンストーミングなどの議論)に，積極的に参画している。		
					・収集した情報を整理する方法(KJ法やコンセプトマップなど)について学ぶ。		○		・問題解決の身近な事例に対し，問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い，目標の設定を考えて表で表現することができる。		
	5			3. 情報の分析	・表計算ソフトウェアなどによるデータの数値化などの方法について学ぶ。 ・数値化した情報を視覚的に表現する方法について	○			・表計算ソフトウェアを活用し，統計処理などを行い，伝えたい情報に合った適切なグラフを作成できる技能を身に付けている。	6	表計算ソフト
					・情報を効果的に分析し，まとめる方法について学ぶ。		○		・収集した情報を整理し，情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し，考察することができる。		
								○	・関心・意欲をもって，収集した情報の整理・分析などを行い，主体的に問題解決に取り組んでいる。		
			2節 情報社会における法規と制度	1．情報の管理と保護	・個人情報やプライバシー，個人情報の保護や管理と関連権利(プライバシー権，肖像権，パブリシティ権)について学ぶ。	○			・個人情報やプライバシーの概念を理解し，個人情報の保護や管理について理解している。	2	
						○			・プライバシー権，肖像権，パブリシティ権について理解している。		
							○		・情報社会で起こっている個人情報に関連する権利侵害の例について説明することができる。		
								○	・自他のプラバシーや肖像権などを尊重する態度をもって取り組んでいる。		
					・個人情報の漏洩について学ぶ。		○		・個人情報の漏洩の例について説明することができる。		
							○		・個人情報の流出を防ぎ，自らの個人情報を適切に管理することができる。		
								○	・個人情報の重要性を認識し，個人情報の管理について，自らも注意して取り組んでいる。		
				2. 知的財産権と産業財産権	・知的財産権の概念(知的財産権の分類，産業財産権や著作権の構成)について学ぶ。	○			・知的財産権の概要について理解し，経済や文化の発展との関係を理解している。	2	
	6				・財産権の概要，産業財産権の構成などについて学ぶ。			○	・知的財産権の問題に関し，自らWebサイトで調べるなど，主体的・意欲的に取り組んでいる。		
				3．著作権	・著作権(著作権(財差権)，著作者人格権)について学ぶ。	○			・著作者の権利と伝達者の権利についての法規やルールについて理解している。	2	
					・著作物の利用，著作権の侵害について学ぶ。	○			・著作物の利用や著作権法の権利制限規定について理解している。		
						○			・著作物の利用の流れを理解し，著作物を適切に利用する方法を身に付けている。		
							○		・著作権法の権利制限規定の意義について考え，討議することができる。		
								○	・著作物の利用に関し，著作権を侵害しないように取り組んでいる。		
								○	・自らや学校での活動に対し，著作権侵害をしないよう活動を計画することができる。		
			3節 情報セキュリティと個人が行う対策	1．認証とパスワード	・個人で行うセキュリティ対策である認証の概要について学ぶ。	○			・個人が行うセキュリティ対策である認証の考え方や管理について理解している。	1	
							○		・具体的な例について，その認証方法の特徴について説明できる。		
								○	・大切な情報を守るための認証の利用など，情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。		
					・安全性の高いパスワードとその管理について学ぶ。	○			・安全性の高いパスワードを設定する方法を身に付けている。		
							○		・パスワードの設定について考え，適切に判断し管理することができる。		
								○	「特定されづらいパスワード設定」の実習において，情報のセキュリティを高めようと，粘り強く取り組んでいる。		
				2. 情報の暗号化	・暗号の必要性と基本的な仕組みについて学ぶ。	○			・暗号化の手順や暗号化通信の必要性について理解している。	1	表計算ソフト
					・簡単な暗号の例(シーザー暗号)について学ぶ。		○		・具体的な事例で暗号化の手順について説明することができる。		
					・ネットワーク上での暗号化通信や無線LANでの暗号化対策について学ぶ。		○		・無線LANの暗号化方式について理解し，暗号化対策を行い適切に管理することができる。		
								○	・暗号化通信に対する理解のもとに，安全な情報の送信・受		
								○	・大切な情報を守るための暗号の利用など，情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。		
				3. コンピュータウィルスと対策	・コンピュータウイルスなどマルウェアの概要と対策について学ぶ。	○			・コンピュータウイルスなどマルウェアの特徴や対策について理解している。	1	
							○		・コンピュータウイルス感染の予防策や感染時の対策について，適切に判断し対応することができる。		
								○	・マルウェアなどの被害に遭わないような対策を行い，リスク軽減に取り組んでいる。		

学期	月	学習項目			学習内容や学習活動	評価の観点			主な評価規準（評価の材料など）	予定時数	ソフトウェアなど
						知技	思表判	主態			
	7	2章コミュニケーションと情報デザイン	1節 メディア	1. メディアの機能と特性	・メディアの機能と特性について学ぶ。	○			・さまざまな意味をもつメディアの機能と特徴について理解している。	1	
						○			・メディアの発達の歴史の概要について理解している。		
					・メディアの分類や情報メディア，表現メディア，伝達メディアの特性について学ぶ。	○			・文字，音声，図表，静止画・動画の各表現メディア，情報メディア，伝達メディアの特性を理解している。		
				2. メディアリテラシー	・メディアリテラシーやクロスチェックの考え方について学ぶ。 ・信憑性の高い情報を手にするための方法について学ぶ。	○			・メディアリテラシーの考え方や情報の信憑性について理解している。	1	
							○		・適切な表現メディアや伝達メディアを選択し，伝達したい情報を効果的に表現することができる。		
							○		・収集した情報を，別のメディアと比較するなどし，正しい情報かどうかを判断することができる。		
							○		・情報メディアや表現メディアを活用し，主体的に情報発信することができる。		
								○	・情報を発信する際，信憑性の高い情報となるよう，情報発信を意識して行っている。		
								○	・メディアから提供された情報を主体的に読み解こうとする態度を身に付けている。		
					・さまざまな情報メディアの特徴について学ぶ。	○			・さまざまな情報メディアの特徴について理解している。		
							○		・情報メディアの違いを理解して適切に情報の収集を行うことができる。		
			2節 コミュニケーション	1. 効果的なコミュニケーション	・コミュニケーションの定義，手段，形態について学ぶ。	○			・コミュニケーションにおける，発信者と受信者の人数，位置関係，同期性による分類を理解している。	2	
					・コミュニケーションの歴史について学ぶ。	○			・技術の進展によるコミュニケーションの手段の変化について理解している。		
2学期	9			2. インターネット上のコミュニケーション	・インターネット上のコミュニケーションの種類と特徴について学ぶ。	○			・インターネットを利用したさまざまなコミュニケーションの特徴について理解している	2	Webブラウザ SNS
							○		・コミュニケーションの形態や特性を考え，コミュニケションの目的に沿った方法を適切に選択することができる。		
					・インターネット上のコミュニケーションのメリットとデメリット（即時性，利便性，保存性，匿名）について学ぶ。		○		・インターネットを利用したコミュニケーションについて，対面の場合と比較し，気を付けるべき点について説明することができる。		
								○	・インターネット上のコミュニケーンに対して，コミュニケーン手段の特性を考え，トラブルが起こらないような態度で取り組んでいる。		
								○	・インターネット上のコミュニケーションにおいて，自からの行動を振り返り，改善しようとしている。		
			3節 情報デザインと表現の工夫	1. 情報デザインの考え方	・デザインの基本，色彩，ユニバーサルデザイン，アクセシビリティについて学ぶ。	○			・ユニバーサルデザイン，アクセシビリティの意味や目的について理解している。	2	
							○		・ユニバーサルデザインについて，身近な例をあげて説明することができる。		
								○	・ユニーバーサルデザイン，アクセシビリティに興味・関心をもち，情報を発信する際に，それらのことに注意して取り組んでいる。		
				2. 表現の工夫	・身のまわりにある，文字や音声，図やイラストによる情報で使われている工夫について学ぶ。	○			・情報をわかりやすく伝達するために，文字，色や配色，図やイラストなどの基本的な表現方法を理解している。	2	
							○		・情報伝達の目的や対象を考え，文章を視覚化したり，レイアウトを工夫したりして表現することができる。		
								○	・情報をわかりやすく伝達するために，文字，図表，グラフなどの表現方法について学習活動を行い，自ら改善しようとしている。		
			4節 コンテンツの制作	1. コンテンツ設計	・プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成について学ぶ。	○			・スライド作成のためのコンテンツの設計の手順を理解している。	4	音声録音ソフト プレゼンテーションソフト
						○			・プレゼンテーションソフトウェアを用いて，見やすいスライドの資料作成の技能を身に付けている。		
					・コンテンツの論理展開の方法について学ぶ。	○			・論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解している。		
						○			・文書作成ソフトウェアを用いて，わかりやすい資料作成の技能を身に付けている。		
							○		・伝えたい内容が同じでも，伝える順序によって受け手の印象が変わることを理解し，コンテンツの構成について考察することができる。		
								○	・わかりやすい報告書やレポートを作成するために，文書の作成やレイアウトについて自ら工夫をし，粘り強く取り組んでいる。		
	10			2. スライドの制作と発表	・スライド制作と見やすくするための工夫について学ぶ。		○		・見やすい，わかりやすいスライド資料を作成し，効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	4	音声録音ソフト プレゼンテーションソフト
					・発表の方法と，評価方法について学ぶ。			○	・わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための工夫をし，プレゼンテーションのリハーサルにも粘り強く取り組んでいる。		
								○	・個人やグループで作成したプレゼンテーション資料や報告書に対し，自己評価や相互評価を行い，フィードバックを行って改善しようとしている。		
		3章情報とコンピュータ	3節 情報機器とコンピュータ	1. さまざまな情報機器	・身のまわりの情報機器や組み込み機器の事例について学ぶ。	○			・身のまわりの多くの家電製品には，コンピュータが内蔵されていることを理解している。	2	
							○		・生活のさまざまな場面で活用されている情報機器の例をあげて説明することができる。		
								○	・生活で利用されている情報機器の種類や特徴などの学習活動について，興味・関心をもって取り組んでいる。		
				2. ハードウェアとソフトウェア	・ハードウェアとソフトウェアの違い，コンピュータ本体の働き，OSとアプリケーションソフトの関係について学ぶ。	○			・ハードウェア，それを動かすソフトウェア，さらに，OSとアプリケーションソフトウェアの関係を理解している。	1	コンピュータの部品
							○		・コンピュータ本体の動きやCPUの動作と演算の仕組みについて，その概要を説明することができる。		
								○	・ハードウェアとソフトウェアの学習に，興味・関心をもって取り組んでいる。		
	11	4章 アルゴリズムとプログラ	1節 アルゴリズムと基本構造	1. アルゴリズム	・アルゴリズムの基本やフローチャート（流れ図）について学ぶ。	○			・アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。	2	
						○			・アルゴリズムの図的表現の一つであるフローチャートの記号および描き方を理解している。		
						○			・アルゴリズムを文章（箇条書き）やフローチャートなどの図で作成することができる。		
							○		・問題解決のためにアルゴリズムを活用する際の手順について説明することができる。		
							○		・作成したアルゴリズム文章（箇条書き）やフローチャートが正しいかどうか検討することができる。		
								○	・プログラミングを行う上で重要なアルゴリズムに興味・関心をもって取り組んでいる。		
								○	・問題解決のためのアルゴリズムの学習に，積極的に取り組んでいる。		

学期	月	学習項目			学習内容や学習活動	評価の観点 知技	思表判	主態	主な評価規準（評価の材料など）	予定時数	ソフトウェアなど
		ミング		2. アルゴリズムの基本構造	・アルゴリズムの基本構造（順次，選択，繰り返し），プログラムの構造について学ぶ。	○			・アルゴリズムの基本構造（順次構造，選択構造，繰り返し構造）を理解している。	2	
						○			・アルゴリズムの基本構造をフローチャートで作成することができる。		
							○		・アルゴリズムやプログラムをわかりやすくするための注意点について考えることができる。		
								○	・作成したフローチャートが正しいかどうか，わかりやすくするなど改善の余地がないかなど考え，繰り返し取り組んでいる。		
			2節 プログラムの基礎	1. 簡単なプログラムの作成	・複数の画像を表示するプログラムの作成方法を学ぶ。	○			・プログラミング言語を用いたプログラムの作成について理解している。	2	Webブラウザ プログラミング環境
							○		・プログラミング言語を使って，順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成することできる。		
							○		・作成したプログラムが正しいかどうかを考察することができる。		
								○	・プログラミング言語に興味をもち，プログラムの作成に積極的に取り組んでいる。		
								○	・プログラムに間違いがあった際にも，繰り返し粘り強く，プログラムの改善に取り組もうとしている。		
		5章モデル化とデータの活用	1節 モデル化	1.モデル化の基礎	・モデル化の手順や分類について学ぶ。	○			・モデル化の目的や手順，モデルの分類方法について理解している。	2	
							○		・モデルの分類（表現形式による分類，対象による分類）に関し，身のまわりの具体的な事例で説明することができる。		
								○	・モデル化について興味・関心をもち，身のまわりのモデルについて分類するなど，意欲的に取り組んでいる。		
				2. モデル化（図的モデル）	・図的モデルの表現方法，簡単な自動販売機の動作をモデル化する方法を学ぶ。	○			・図的モデルのさまざまな表現方法（ブロック線図，状態遷移図，アクティビティ図）について理解している。	2	
							○		・簡単な自動販売機の動作をモデル化し，状態遷移図で表現することができる。		
								○	・身のまわりものから図的モデルを作成する学習などに積極的に取り組み，自己評価および相互評価を行い，モデルを改善しようとしている。		
	12		2節 シミュレーション	1. シミュレーションの基礎	・シミュレーションの手順と注意点について学ぶ。	○			・シミュレーションの手順や注意点，シミュレーションツールについて理解している。	2	
							○		・シミュレーションの手順について，具体的な事例で説明することができる。		
								○	・具体的な事象のモデル化やシミュレーションに対して興味・関心をもち，意欲的に取り組んでいる。		
				2. シミュレーション（確定的モデル）	・確定的モデルをシミュレーションするための手順について学ぶ。	○			・簡単な確定的モデルのモデル化やシミュレーションの手順を理解している。	2	表計算ソフト
							○		・確定的モデルについて，表計算ソフトウェアを用いてシミュレーションを行い，その結果から考察することができる。		
								○	・シミュレーションで得られた結果をもとに，パラメータを変更するなど繰り返しシミュレーションを行うなどし，分析・評価を行っている。		
				3. シミュレーション（確率的モデル）	・確率的モデルをシミュレーションするための手順について学ぶ。	○			・簡単な確率的モデルのモデル化やシミュレーションの手順を理解している。	2	表計算ソフト
							○		・確率的モデルについて，表計算ソフトウェアの乱数を用いてシミュレーションを行い，その結果から考察することができる。		
								○	・表計算ソフトウェアやプログラミング言語を利用した確率的モデルのシミュレーション実習において，意欲的に粘り強く取り組んでいる。		
	1		3節 データの活用	1. データの収集	・データの種類と，データの活用の手順や方法について学ぶ。	○			・データの種類（質的データ，量的データ）やデータの活用方法について理解している。	4	Webブラウザ
					・データの尺度水準，ビッグデータとデータマイニングについて学ぶ。	○			・ビッグデータやデータマイニングの意味について理解している。		
							○		・身近な数値データを尺度水準で分類し，その特徴について説明することができる。		
							○		・身のまわりのビッグデータについて，具体的な内容やデータの収集方法などを考察することができる。		
							○		・データマイニングの手順について説明することができる。		
								○	・問題解決のためのデータの分析に対し，繰返し粘り強く取り組んでいる。		
	2			2. データの分析	・散布図と箱ひげ図によるデータ分析の方法について学ぶ。	○			・散布図および箱ひげ図によるデータの分析方法について理解している。	4	表計算ソフト
						○			・表計算ソフトウェアを利用して，散布図や箱ひげ図を作成することができる。		
							○		・身近な数値データの散布図から相関係数を求めて，データの関連性について考察することができる。		
							○		・身近な数値データから箱ひげ図を作成し，その結果から分析・考察することができる。		
3学期								○	・収集したデータなどを表計算ソフトウェアを利用して統計処理を行い，グラフ化などをする活動に対し，意欲的に取り組んでいる。		
								○	・分散や標準偏差をはじめ統計的な用語の概念について，具体的な数値データをもとに理解しようとしている。		
	3	6章ネットワークと情報システム	3節 情報セキュリティ	1. 情報セキュリティと対策	・情報の安全を守るために，組織が行っている情報セキュリティ対策について学ぶ。	○			・情報の安全を守るための情報セキュリティの意味と重要性を理解している。	1	Webブラウザ
						○			・組織が行っている情報セキュリティを確保するための対策について理解している。		
								○	・安全に情報を送受信する仕組みの理解のもとに，情報セキュリティに対する対策を自ら進んで行い，改善しようとしている。		
					・情報セキュリティの3要素（機密性，安全性，可用性）について学ぶ。		○		・情報セキュリティの3要素（機密性，安全性，可用性）とそれぞれの脅威や対策について説明することができる。		
					・情報セキュリティを確保するための対策（ファイアウォールの意味やアクセス制御など）について学ぶ。		○		・ファイアウォールの意味やアクセス制御の具体例について説明できる。		
				2. 暗号技術	・暗号化を活用した技術について学ぶ。	○			・暗号化を活用した技術（暗号方式，デジタル署名など）について理解している。	1	表計算ソフト
					・暗号化の技術とデジタル署名について学ぶ。		○		・共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式について，その特徴や違いについて説明することができる。		
					・デジタル署名や認証局について学ぶ。		○		・デジタル署名の要約文を作成し，具体的にデジタル署名について考えることができる。		
								○	・暗号化の方式がデジタル署名に応用されていることを認識し，デジタル署名や電子認証について，より深く理解しようとしている。		

令和５年度 高等部　３年（Ⅰ課程　特別活動）　年間指導計画

単位数／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。 （思判表力）集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。 （学・人）自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，主体的に集団や社会に参画し，生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	12	（知及技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解することができる。 （思判表力）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践することができる。 （学・人）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろることができる。	（知・技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。 （思・判・表）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践している。 （主学）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	・児童生徒委員会 ・個人目標、学級目標の設定 ・児童生徒総会 ・沖国大生との交流 ・安全学習 ・前期就業・生活体験の事前・事後学習 ・夏休みの過ごし方	・生活委員会の活動に参加する。 ・今年度の目標を立てる。 ・児童生徒会の一員としてできることに取り組む。 ・交流の自己紹介や合わせクイズを考える。 ・火災時の避難方法について知る。 ・卒業後を見据えて就業体験に取り組む。 ・夏休みは計画を立てて、様々なことに取り組む。
２学期	14	（知及技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解することができる。 （思判表力）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践することができる。 （学・人）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろることができる。	（知・技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。 （思・判・表）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践している。 （主学）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	・児童生徒委員会 ・いじめ防止について ・後期就業・生活体験の事前・事後学習 ・安全学習	・生活委員会の活動に参加する。 ・いじめについて考え自分なりの意見を持つ。 ・卒業後を見据えて就業体験に取り組む。 ・地震や津波が起きたときの避難の仕方を知る。
３学期	6	（知及技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解することができる。 （思判表力）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践することができる。 （学・人）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろることができる。	（知・技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。 （思・判・表）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践している。 （主学）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	・児童生徒委員会 ・児童生徒生徒会役員選挙演説・投票 ・卒業生を送る会	・生活委員会の活動に参加する。 ・生徒会役員への立候補について考える。 ・卒業生を送る会の企画を生徒会役員と一緒に考える。
留意点 引継ぎ等	・地域の他校の生徒と交流する。 ・生徒会役員選挙に参加する。 ・３年生を送る会について考える。 ・儀式の場における礼儀やマナーについて考え、規律ある行動を実践する。				

令和５年度 高等部（Ⅰ課程）総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。 （思判表力）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め、整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。 （学・人）探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	①知及技 総合的な探究の時間の学習内容や身に付けたい力を理解できるようにする。 ①思判表力 総合的な探究の時間を通して、どんな自分になりたいかを考えることができるようにする。 ①学・人 将来のことや今やらなければならないことを前向きに考えようとする態度を育む。	①知及技 総合的な探究の時間の学習内容や身に付けたい力を理解しようとしている。 ①思判表力 総合的な探究の時間を通して、どんな自分になりたいかを考えることができるようにしている。 ①学・人 将来のことや今やらなければならないことを前向きに考えようとしている。	①オリエンテーション	①オリエンテーション ・総合的な探求の時間の意義の確認 ・年間予定の確認
	1	②知及技 キャリアパスポートを通して、自己と向き合い、自己実現に向けた資質・能力を身に付けることができるようにする。 ②思判表力 目標設定・振り返りを繰り返し、自己実現に向けてやるべきことを明確にすることができるようにする。 ②学・人 自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとする態度を育む。	②知及技 キャリアパスポートを通して、自己と向き合い、自己実現に向けた資質・能力を身に付けようとしている。 ②思判表力 目標設定・振り返りを繰り返し、自己実現に向けてやるべきことを明確ににしようとしている。 ②学・人 自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとしている。	②キャリアパスポート	②キャリアパスポート ・年度初め、１学期目標設定 ・１学期振り返り
	3	③知及技 交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解できるようにする。 ③思判表力 交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようにする。 ③学・人 課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとする態度を育む。	③知及技 交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解しようとしている。 ③思判表力 交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようにしようとしている。 ③学・人 課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとしている。	③交流学習（沖縄国際大学） ・交流学習事前学習 ・交流学習 ・交流学習事後学習	③交流学習 ・交流学習事前学習 ・交流学習の企画を考える ・交流相手を知る ・自ら（本校）を知ってもらう術を考える ・交流学習 ・他者とのコミュニケーション ・交流学習での役割 ・交流学習事後学習 ・交流学習を振り返る ・交流学習からの学びを考える
	60	④知及技 就業・生活体験を通して、自己理解を深め、就業の実像をつかみながら、望ましい勤労観、職業観を身に付けることができるようにする。 ④思判表力 体験先に関する様々な情報を収集し、知識を得ることができるようにする。 ④学・人 自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとする態度を育む。	④知及技 就業・生活体験を通して、自己理解を深め、就業の実像をつかみながら、望ましい勤労観、職業観を身に付けることができるようにしようとしている。 ④思判表力 体験先に関する様々な情報を収集し、知識を得ることができるようにしようとしている。 ④学・人 自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとしている。	④進路学習 ・前期就業・生活体験事前学習 ・前期就業・生活体験 ・前期就業・生活体験事後学習	④進路学習 ・前期就業・聖愛k津体験事前学習 ・体験先情報を知る ・自らを知る ・ねらいを知る ・目標を考える ・働く意義を考える ・前期就業・生活体験 ・働くことを体験する ・前期就業・生活体験事後学習 ・自らの良さを振り返る ・自らの課題を知る ・働く意義を振り返る

２ 学 期	1	⑤知及技 　キャリアパスポートを通して、自己と向き合い、自己実現に向けた資質・能力を身に付けることができるようにする。 ⑤思判表力 　目標設定・振り返りを繰り返し、自己実現に向けてやるべきことを明確にすることができるようにする。 ⑤学・人 　自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとする態度を育む。	⑤知及技 　キャリアパスポートを通して、自己と向き合い、自己実現に向けた資質・能力を身に付けようとしている。 ⑤思判表力 　目標設定・振り返りを繰り返し、自己実現に向けてやるべきことを明確ににしようとしている。 ⑤学・人 　自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとしている。	⑤キャリアパスポート	⑤キャリアパスポート ・２学期目標設定 ・２学期振り返り
	3	⑥知及技 　交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解できるようにする。 ⑥思判表力 　交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようにする。 ⑥学・人 　課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとする態度を育む。	⑥知及技 　交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解しようとしている。 ⑥思判表力 　交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようにしようとしている。 ⑥学・人 　課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとしている。	⑥交流学習（中部農林高校） ・交流学習事前学習 ・交流学習 ・交流学習事後学習	⑥交流学習 ・交流学習事前学習 　・交流学習の企画を考える 　・交流相手を知る 　・自ら（本校）を知ってもらう術を考える ・交流学習 　・他者とのコミュニケーション 　・交流学習での役割 ・交流学習事後学習 　・交流学習を振り返る 　・交流学習からの学びを考える
３ 学 期	1	⑦知及技 　キャリアパスポートを通して、自己と向き合い、自己実現に向けた資質・能力を身に付けることができるようにする。 ⑦思判表力 　目標設定・振り返りを繰り返し、自己実現に向けてやるべきことを明確にすることができるようにする。 ⑦学・人 　自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとする態度を育む。	⑦知及技 　キャリアパスポートを通して、自己と向き合い、自己実現に向けた資質・能力を身に付けようとしている。 ⑦思判表力 　目標設定・振り返りを繰り返し、自己実現に向けてやるべきことを明確ににしようとしている。 ⑦学・人 　自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとしている。	⑦キャリアパスポート	⑦キャリアパスポート ・３学期目標設定 ・年度終わり、３学期振り返り
留意点 引継ぎ等					